令和元年度

事業報告書

社会福祉法人

甲賀市社会福祉協議会

目　次

事業総括 3
Ⅰ．　法人の組織運営 5
１．組織強化と人材育成 5
（１）定款変更 5
（２）理事会等の運営 5
（３）人事評価制度 10
２．イクボス・働き方改革の取組み 10
（１）情報収集等 10
（２）イクボス推進会議 11
（３）業務の効率化、合理化 11
（４）有給休暇取得率、時間外等の状況 11
３．財源の確保、他 11
（１）社協会費 11
（２）地域福祉基金 12
（３）補助金・委託金の確保 12
（４）善意銀行の運営 13
（５）苦情解決 13
（６）役・職員内部研修会の開催・人権研修の参加 14
（７）新型コロナウイルス感染予防対応 17
（８）法人関係会議、行事への参加他 18
Ⅱ．ご近所福祉でまちづくり 20
１．甲賀市ご近所福祉推進委員会 20
２．地域（町）ご近所福祉推進協議会 20
３．甲賀市災害福祉ネットワーク委員会 23
４．ご近所福祉活動の推進 25
（１）全体での取り組み 25
（２）水口地域福祉活動センター 26
（３）土山地域福祉活動センター 29
（４）甲賀地域福祉活動センター 32
（５）甲南地域福祉活動センター 33
（６）信楽地域福祉活動センター 35
（７）生活支援体制整備事業 37
（８）地域力強化推進事業（我が事・丸ごとの地域づくり） 39
５．地域活動推進助成事業 40
（１）ご近所福祉活動助成 40
（２）ふれあいいきいきサロン支援・助成事業 41
６．当事者支援 42
（１）子育て支援 42
（２）高齢者支援 43
（３）障がい者支援等 44
７．団体支援 45
（１）甲賀市民生委員児童委員協議会連合会 45
（２）介護者の会 47
（３）その他団体支援 48
８．福祉センター等指定管理事業 48
（１）社会福祉センター管理・運営事業 48

（２）老人福祉センター碧水荘（水口） 48
（３）老人福祉センターフィランソ土山 50
（４）老人福祉センター佐山荘（甲賀） 50
９．甲賀市社協ボランティアセンター事業 51
（１）福祉ボランティア活動の活性化 51
（２）甲賀市ボランティア連絡協議会支援 53
（３）福祉学習等開催支援 53
（４）ボランティア助成事業 54
１０．広報、地域福祉大会、人材育成 54
（１）広報紙の発行 54
（２）地域福祉大会 55
（３）実習生の受入れ 55
１１．その他受託事業等 55
（１）障がい児タイムケア事業 55
（２）障がい児等の居場所づくりの推進 58
（３）ファミリーサポートセンター事業 58
（４）こんにちは赤ちゃん事業 60
（５）ふくしマンパワーねっと事業 60
１２．被災地支援 61
１３．機器貸出事業 62
Ⅲ．医療・介護・福祉連携への取り組み 63
１．在宅生活支援部の事業 63
（１）在宅看取りケア・認知症ケア 63
（２）各事業体制強化の取り組み 64
（３）介護・看護人材の確保 64
２．訪問介護事業 65
３．訪問入浴事業 67
４．通所介護事業 68
５．訪問看護事業 69
６．居宅介護支援事業 70
Ⅳ．「相談・支援」の取り組み 72
１．生活困窮者自立支援の取り組み 72
（１）自立相談支援事業・家計改善支援事業の推進 72
（２）甲賀市学習支援事業「学んでいコウカ」の実施 73
（３）生活物資支えあい事業 74
（４）フードバンク事業　Ｅこころプラン 75
（５）住民同士による外出支援活動の推進 75
２．生活支援活動 75
（１）資金貸付事業 75
（２）地域福祉権利擁護事業（こうかあんしんネットセンター） 76
３．障がい者への相談支援・計画相談支援の実施 78
４．滋賀の縁創造実践センター事業への参画・協働 78
Ⅴ．福祉作業所の運営 80
１．つちやま福祉作業所 80
２．甲賀福祉作業所 82

事業総括

令和元年度は、第 2 次地域福祉活動計画 3 年目の年となり、計画で掲げた 4 つのプロジェクト（①見守り・支えあい・発見・解決プロジェクト、②ふ・く・しネットワークプロジェクト、③地域の居場所づくりプロジェクト、④災害にも強い地域づくりプロジェクト）をご近所福祉推進協議会や甲賀市災害福祉ネットワーク委員会が中心となり、講演会やフォーラムの開催、調査活動、広報紙の発行等、それぞれの地域課題に応じて、より自立した活動が展開され、実行性のあるものとして推進されました。そして、こうした活動や市内のふれあいサロン等を広く市民に紹介するためにあいコムこうかとの協働で地域福祉専門番組「こうふくコロンブス」の制作にむけて企画を進めました。（令和 2 年 5 月放送開始）

さて、甲賀市においては年々進む人口減少や少子高齢化、核家族化に伴う生活課題はますます複雑多様化しており、福祉の担い手も不足しています。こうした中、昨年度 10 月から甲賀市から「地域力強化推進事業」の委託を受け、地域において、とかく「他人事」になりがちな地域づくりを「我が事」として主体的に取り組む仕組みづくりを推進するとともに、地域の喫緊の課題であった外出支援について、9 月から住民組織で外出支援活動を展開される団体に対してモデル的に活動用車両の貸渡しをスタートさせるとともに、外出支援ボランティア講座を開催しました。

また、年度末には新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けて地域活動が自粛される中にあって、緊急小口資金貸付やフードバンク事業、さらに学習支援事業「学んでいコウカ」の臨時開催等により、生活困窮世帯等の個別課題に対して直接的な支援を行いました。

介護分野においては、従来から培ってきた介護技術や専門性をさらに高めるとともに、認知症への取り組みの一つして、すこやか荘デイサービスセンターにおいて「オレンジカフェ」（認知症カフェ）を定期的に開催し、地域に開かれたデイサービスセンターとして事業展開をしました。また、在宅看取りへの取組みとしては、～在宅看取りを通して見えてきた利用者、家族そして職員の思い～と題して滋賀県社会福祉学会で研究報告をいたしました。

≪重点事業の取り組み≫

１．地域福祉活動計画の４つのプロジェクト推進

地域福祉活動計画の実現に向けて、各 5 町のご近所福祉推進協議会が中心となり、地域の実態やニーズに応じた活動を展開しました。

さらに「地域力強化推進事業」に基づく「ご近所福祉コーディネーター」を各町に設置するなどにより、地域の課題解決に取り組める体制をより一層強化しました。

２．外出支援についての企画と推進

第 2 次地域福祉活動計画の作成に向けた市民アンケート調査で「移動手段」が喫緊の課題となっていることから、市健康福祉部と本会職員による推進チームを編成して視察研修等を行い、9 月からモデル的に区など住民組織で外出支援活動を展開される団体に対して活動用車両の貸渡しができるよう企画し、推進しました。

３．在宅看取りケアと認知症ケア推進

介護家族の意識が変容する中にあって、本会は訪問看護事業所を持つ特性を生かし、介護事業所の 23.9%（26 人）の利用者を在宅看取り（住み慣れた家で最期まで）することができました。また、訪問入浴事業スタッフにより、滋賀県社会福祉学会において在宅介護における訪問入浴の役割について研究報告を行いました。認知症ケアについては、デイサービスセンターでオレンジカフェ（認知症カフェ）を定期的に開催することで、地域に開かれた居場所の一つとしての事業展開ができました。

４．働き方改革による魅力的な職場環境づくりと人材確保

本格的に取組みを開始した平成 30 年度の前 3 年間（平成 27 年度～平成 29 年度）を基準値として、有給休暇の消化率や時間外勤務、離職率の平均値を調査した結果、昨年に引き続き一定の取り組み成果はみられました。さらに日々の業務改善をおこない、マンネリ化を防ぐためにも、業務効率化（カエル会議）強調月間を設ける等しながら、職員への意識改革を継続させていきます。

Ⅰ．法人の組織運営

１．組織強化と人材育成

（１）定款変更

【変更内容】　①6 月 25 日施行改正
　　〇従たる事務所の文言削除
【変更手続】　①理事会承認（6 月 5 日）
　　②評議員会承認（6 月 25 日）
　　③定款変更認可申請書（8 月 7 日、甲賀市長へ提出）
　　④定款変更認可通知（8 月 16 日、甲福医第 136 号）

（２）理事会等の運営

≪理事会・役員会≫　理事 12 名　監事 2 名

法人業務の適切な運営を図るため、理事をもって組織する理事会によって業務内容の検討や決定を行った。

①【開催日】4 月 9 日（火）
【内　容】《審議事項》
1. 嘱託職員就業規則の一部改正（案）
2. パートタイマー等就業規則の一部改正（案）
3. 第三者委員の選任（案）
4. 評議員選任・解任委員会委員の選任（案）
5. 甲賀福祉作業所就労継続支援Ｂ型事業運営規程およびつちやま福祉作業所就労継続支援Ｂ型事業運営規程の一部改正（案）
※原案通り可決
【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】理事 12 名、監事 2 名

②【開催日】6 月 5 日（水）
【内　容】《報告事項》
1. 平成 30 年度運営適正化委員会定期現地調査助言事項
2. 平成 30 年度地域福祉基金の活用
3. 甲賀福祉作業所就労継続支援Ｂ型事業運営規程およびつちやま福祉作業所就労継続支援Ｂ型事業運営規程の一部改正（案）の専決

《審議事項》

1. 平成 30 年度事業報告（案）
2. 平成 30 年度一般会計資金収支決算（案）
3. 定款の一部改正（案）
4. 定款施行細則の一部改正(案)
5. 正規職員就業規則の一部改正（案）
6. 事務局の組織及び運営に関する規程の一部改正（案）
7. 退任に伴う第 8 期補欠評議員選任候補者の推薦(案)
8. 評議員選任・解任委員会の招集（案）
9. 第 9 期役員候補者の選定（案）
10. 評議員会の招集(案)

※原案通り可決

【場　所】水口社会福祉センター

【出　席】理事 12 名、監事 2 名

③【開催日】6 月 25 日(火)

【内　容】《報告事項》

1. 退任に伴う第 8 期補欠評議員の選任結果
2. 定時評議員会の開催結果

《審議事項》

1. 第 9 期会長および副会長、常務理事の選任
2. 顧問の同意
3. 地区担当理事(案)

※原案通り可決

【場　所】水口社会福祉センター

【出　席】理事 12 名、監事 2 名

④【開催日】9 月 3 日（火）

【内　容】《報告事項》

1. 会長専決による運営規程の一部改正

《審議事項》

1. 事務局の組織及び運営に関する規程の一部改正(案)
2. ヘルパーステーションしがらき運営規程（指定訪問介護）の一部改正(案)
3. ヘルパーステーションしがらき運営規程（訪問型サービス「現行相当」）の一部改正（案）
4. ヘルパーステーションしがらき運営規程（障害福祉サービス）の一部改正(案)
5. ケアプランセンターしがらき運営規程の一部改正（案）
6. 甲賀市社協訪問看護ステーション運営規程(指定訪問看護)の一部改正(案)
7. 甲賀市社協訪問看護ステーション運営規程（介護予防訪問看護）の一部改

正（案）
※原案通り可決
【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】理事 12 名、監事 2 名

⑤【開催日】11 月 27 日（水）
【内　容】《報告事項》
1. 会長専決によるパートタイマー等就業規則の一部改正
2. 令和元年度中間事業報告並びに中間決算状況
3. 第 2 次地域福祉活動計画の進捗状況
《その他》
1. あいコムこうかとの協働番組制作企画（案）
2. 減価償却の方法
3. 被災地支援予定（福島県郡山市社協）
【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】理事 12 名、監事 2 名

⑥【開催日】1 月 7 日（火）
【内　容】《報告事項》
1. 地域包括支援センターについて
2. 被災地支援について（福島県郡山市社協）
《審議事項》
1. 正規職員就業規則の一部改正（案）
2. 嘱託職員就業規則の一部改正（案）
3. パートタイマー等就業規則の一部改正（案）
4. 視覚障がい者登録ガイドヘルパー就業規則の一部改正（案）
5. 給与規程の一部改正（案）
6. 事務局の組織及び運営に関する規程の全部改正（案）
7. 評議員会の招集（案）
※原案通り可決
【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】理事 12 名、監事 2 名

⑦【開催日】3 月 10 日（火）
【内　容】《報告事項》
1. 令和元年度実地指導の結果と会長および常務理事の職務執行状況
《審議事項》
1. 令和元年度一般会計資金収支補正予算（案）
2. 経理規程の一部改正（案）
3. 令和 2 年度事業計画（案）

4. 令和 2 年度一般会計資金収支予算（案）
5. 退任に伴う第 8 期補欠評議員選任候補者の推薦（案）
6. 評議員選任・解任委員会の招集（案）
7. 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正（案）
※原案通り可決

【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】理事 11 名、監事 2 名

≪評議員会≫　37 名

法人の諮問機関として位置づけ評議員会を開催し、住民の幅広い意見を反映しながら，法人運営にあたった。

①【開催日】6 月 25 日（火）
【内　容】《報告事項》
1. 退任に伴う第 8 期補欠評議員の選任
《審議事項》
1. 平成 30 年度事業報告（案）
2. 平成 30 年度一般会計収支決算（案）
3. 定款の一部改正（案）
4. 第 9 期役員選任（案）
※原案通り可決
【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】評議員 26 名、理事 4 名

②【開催日】3 月 24 日（火）　※決議があったとみなされる日
【内　容】《審議事項》
1. 令和元年度一般会計資金収支補正予算（案）
2. 令和 2 年度事業計画（案）
3. 令和 2 年度一般会計収支予算（案）
【書面同意】評議員 37 名
※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、全評議員の書面による同意決議

≪評議員選任・解任委員会≫　3 名

法人の評議員の選任・解任を行うための機関として設置し、退任に伴う第 8 期の評議員の選任を行った。

①【開催日】6 月 12 日（水）
【内　容】退任に伴う第 8 期評議員の選任について
8 名退任に伴い 8 名を選任
【場　所】水口社会福祉センター

【出　席】評議員選任・解任委員（3 名）、常務理事

②【開催日】3 月 19 日（水）
【内　容】退任に伴う第 8 期評議員の選任について
4 名退任に伴い 4 名を選任
【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】評議員選任・解任委員（3 名）、常務理事

≪監査会、その他の監査≫

①社会福祉協議会定例監査

法人の事業運営・会計業務が関係法令および経理規程の定めに従い、効率よくまた、適切に行われているか確かめるため、監事による監査を行った。

【開催日】5 月 28 日（火）
【内　容】平成 30 年度 実施事業監査、会計決算監査
【結　果】指摘事項なし
【場　所】水口社会福祉センター
【出　席】監事 2 名（大辻税理士法人 1 名）
会長、副会長（2 名）、常務理事、法人運営部長、在宅生活支援部長、地域活動支援部長、総務課長、総務係長

②その他の監査

○月例監査

法人の会計業務が経理規程の定めに従い、効率的かつ適切に行われているか確かめるため、顧問税理士による監査を毎月行った。

大辻税理士法人による月次会計監査の実施
・社協一般会計（年間 12 回）

≪三役会議≫

社会福祉法人として適切で充実した法人運営を図るため、会長・副会長・常務理事の出席および部長級以上の職員参加の中、次の会務を実施した。

①【開催日】5 月 22 日（水）
【内　容】監事会・理事会提案事項について協議
第 9 期役員（案）について他
【場　所】水口社会福祉センター

②【開催日】11 月 15 日（金）
【内　容】理事会提案事項について

令和２年度組織体制（案）について他
【場　所】水口社会福祉センター

③【開催日】1 月 7 日（火）
【内　容】地域福祉大会での表彰について
令和２年度市補助金について他
【場　所】水口社会福祉センター

④【開催日】2 月 26 日（水）
【内　容】共同募金運営委員会・理事会提案事項について他
【場　所】水口社会福祉センター

（３）人事評価制度

令和２年度から賞与への評価反映割合が勤勉手当の 40%になる予定であったが、職員アンケート調査を行ったところ、評価反映割合については多数の職員が現在の 20%割合を望んでおり、今後、反映割合を増やしていくには課題も見受けられた為、20%に据え置くこととなった。

【人事審査委員会】　7 回
（4 月 25 日、26 日、10 月 28 日、30 日、11 月 8 日、1 月 21 日、2 月 17 日）
【評価制度説明会】〇新任職員研修　4 月 1 日（月）
【考 課 者 訓 練】〇考課者訓練　　9 月 19 日（木）
【職員アンケート】〇実施期間　　11 月 18 日～12 月 5 日
〇調査対象者　　正規・嘱託全職員

２．イクボス・働き方改革の取組み

平成 29 年 11 月 3 日に「イクボス共同宣言」を行い、平成 30 年度はイクボス推進チームを社会福祉協議会内に設け、令和元年度も引き続きイクボス推進チームと共に職場と生活の調和の応援と、働き方を見直し推進するために以下のさまざまな事業の取り組み等を行った。

また、「カエル会議」（早くカエル、仕事の仕方をカエル、意識をカエル）を推進し、事業所ごとに業務効率化シートを作成して改善内容を検討し、業務の効率化に向けて取り組みを行った。

（１）情報収集等

①滋賀労働局雇用環境均等室
滋賀労働局から働き方・休み方の改善取り組みプランなどアドバイスを受けた。
7 月 23 日（火）
②県内・市内の社会福祉法人育児関係に関する聞き取り調査

県内社協や近隣の社会福祉法人の育児休暇や育児短時間期間・夏季休暇の状況など聞き取り調査を行い、就業規則改正に向けて検討を行った。

③企業主導型保育園と契約締結を行った。

（２）イクボス推進会議

イクボス推進チーム(8 名)を中心に、職場と生活の調和の応援と、働き方を見直し推進するために定期的に推進会議を開催し協議を行った。

（３）業務の効率化、合理化

業務効率化シート（業務項目、業務内容、課題、効率化達成状況）を活用して、全部署で取り組み、意識改革や業務改善、合理化を推進した。今年度は業務効率化の推進月間を 10 月と定め、集中して日頃の業務を見直す機会を設けて効率化に向けて改善を図った。

（４）有給休暇取得率、時間外等の状況

①有給休暇の取得率（平成 27 年度～29 年度）取組み前 3 年間平均(基準)

	1 人当たり平均	正規 44.6%	嘱託 74.2%	臨時 62.9%
（令和元年度）		正規 57.9%	嘱託 81.1%	臨時 69.0%

②時間外労働（平成 27 年度～29 年度） 1 人当り平均　7.5 時間

（令和元年度） 1 人当り平均　5.1 時間

③平均離職率（平成 27 年度～29 年度）　正規　3.9%　臨時　16.2%

（令和元年度）　正規　2.3%　臨時　11.9%

３．財源の確保、他

（１）社協会費

社協活動を支える最も大切な自主財源である社協会費は、年々減少傾向が続いている。全世帯、区加入世帯数は前年度よりもわずかに増えているものの、一般会費は前年度比マイナス 0.02%、賛助会費は前年度比マイナス 9.24%で、団体会費についてもマイナス 12.5%となった。特別会費は前年度と同額で増減なしだった。今後も区・自治会を単位とするご近所福祉活動の推進、支援を強化することが住民の福祉意識の高揚を図り会費収納増強につながると考える。

社協会費合計　11,722,841 円（前年度 11,820,650 円　対前年度比マイナス 0.83%）

① **一般会費（一世帯 700 円）**

10,732,841 円（前年度比マイナス 0.02%）
納付率 49.3%（全世帯）・区加入世帯納付率 69.7%
（17,782 世帯分／36,066 世帯（全世帯）・25,526 世帯（区加入世帯）
［令和元年 3 月末現在］

平成 30 年度
（納付率 50.7%　区加入納付率 70.8%）

② **賛助会費**（一口 3,000 円　214 件　845,000 円（前年度比マイナス 9.24%）

③ **特別会費**（一口 5,000 円）　15 件　75,000 円（前年度比増減なし）

④ **団体会費**（一口 2,000 円）　24 件　70,000 円（前年度比マイナス 12.5%）

《地区別社協会費内訳》

地　域	一般会費		賛助会費		特別会費		団体会費		合計金額（円）
	世帯数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）	
水　口	8,791	4,951,900	109	424,000	6	30,000	7	16,000	5,421,900
土　山	1,554	955,500	36	140,000	2	10,000	1	2,000	1,107,500
甲　賀	2,230	1,561,591	23	91,000	1	5,000	2	4,000	1,661,591
甲　南	2,330	1,564,000	18	62,000	3	15,000	1	2,000	1,643,000
信　楽	2,877	1,699,850	28	128,000	3	15,000	5	15,000	1,857,850
市全域	0	0	0	0	0	0	8	31,000	31,000
合　計	17,782	10,732,841	214	845,000	15	75,000	24	70,000	11,722,841

（２）地域福祉基金

【本部基金残高】　12,673,202 円（前年度 12,628,693 円）

（３）補助金・委託金の確保

令和元年度も甲賀市の市補助金やさまざまな事業の市委託金により法人運営部・地域活動支援部の人件費・事業費・運営費に充当しているものの、非常に厳しい状況である。今後も本会の地域福祉推進における社会的役割を市に伝えながら補助金・委託金の確保につなげたい。特に生活支援体制整備事業や地域力強化推進事業を活用して、引き続き生活支援コーディネーターやご近所福祉コーディネーターの配置を行い、地域福祉を推進していく。また、相談支援課事業として、家計相談事業や自立支援調整事業・学習支援事業や滋賀県社協からの補助金として、地域福祉権利擁護事業運営費も前年より若干増額が見られた。

（４）善意銀行の運営

①善意銀行の預託・払出状況

（預　入）　【金銭】　60 件　2,857,215 円　【物品】118 件

（払　出）　【金銭】　35 件　1,572,835 円　【物品】118 件

《善意銀行の預託金銭内訳一覧》

地域	件数	金額(円)
水　　口	28	2,057,634
土　　山	13	209,405
甲　　賀	3	404,262
甲　　南	11	75,040
信　　楽	5	110,874
合　計	60	2,857,215

《善意銀行の払出内訳一覧》

種別	払い出し先	件数	金　額(円)
一般	生活物資ささえあい事業)	1	130,493
使途指定	法人運営部	1	1,000
	土山地域福祉活動センター	1	5,000
	甲南地域福祉活動センター	1	2,000
	在宅生活支援部	2	330,000
	ケアプランセンターぬくもり	2	206,477
	デイサービスセンターすこやか荘	2	33,000
	つちやま福祉作業所	4	123,914
	ご近所福祉活動助成事業	8	411,877
	ご近所福祉推進協議会（信楽）	1	53,874
	みんなくる会	1	5,000
	サロンまなび	1	5,000
	こども食堂ネットワークこうか	3	210,000
	岩上こども食堂	1	5,000
	おいでおいでサロン	1	20,200
	スマイルきずな	5	30,000
	小　計	34	1,442,342
合　計		35	1,572,835

（５）苦情解決

社協が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決するため、社協内に苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設置し、福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者個人の

権利の擁護とサービス提供者としての信頼及び適正性の確保を図ることとしている。また、以下の苦情内容に対して解決改善を重ね、第三者委員への報告を行いさらに改善に努めた。

① 第三者委員会議

【開催日】10 月 10 日（木）

【内　容】・平成 30 年度　苦情内容説明

・第三者委員意見聴取

【場　所】甲賀市役所　本庁舎　202 会議室

【出　席】第三者委員 3 名、会長、局長、法人運営部長、在宅生活支援部長

地域活動支援部長、総務課長

② 苦情の集計

【苦情件数】39 件

【苦情分類】ケア内容に関すること（11 件）　社協会費や募金（3 件）

交通・駐車・運転マナー（9 件）　職員の態度（3 件）　その他（13 件）

【想定要因】説明・情報提供不足（12 件）　職員の態度（9 件）　サービス内容（3 件）

交通マナー等（9 件）　その他（9 件）※複数要因あり

【要望内容】改めてほしい（29 件）　話を聞いてほしい（2 件）　回答してほしい（7 件）

調べてほしい（6 件）　※複数要望あり

※住民や利用者等に対する説明不足や職員の態度、マナー、会費や募金に関する苦情が多く、寄せられた苦情を職員ひとり一人がしっかりと受け止め、「苦情から学ぶ」という姿勢で法人全体で改善していく。苦情に関してはその都度、申出された方に丁寧に説明を行い改善に努めた。

（６）役・職員内部研修会の開催・人権研修の参加

①令和元年度新人職員研修

テーマ「社協とは？」

第 1 回

【開催日】4 月 1 日（月）

【講　師】甲賀市社会福祉協議会　管理職員

【場　所】水口社会福祉センター

【対　象】令和元年度新規採用正規職員・パート新人職員

【参加者】7 名

第 2 回

【開催日】10 月 3 日（木）

【講　師】甲賀市社会福祉協議会　管理職員

【場　所】水口社会福祉センター

【対　象】パート新人職員

【参加者】14 名

テーマ「G-Suite 研修」（パソコンシステム）

第 1 回

【開催日】7 月 8 日（月）

【講　師】法人運営部係長

【場　所】水口社会福祉センター

【対　象】令和元年度新規採用正規職員・パート職員

【参加者】8 名

②救急救命、AED について

【開催日】7 月 4 日（木）

【講　師】水口消防署

【場　所】甲賀広域消防本部 屋内訓練場

【対　象】全職員（パート職員含む）、サマースクール指導員

【参加者】21 名

③ 令和元年度　甲賀市社会福祉協議会職員向け　セカンドライフセミナー

【開催日】10 月 31 日（木）

【講　師】西多社会保険労務士事務所　所長　西多正夫氏

【場　所】水口社会福祉センター

【対　象】（１）年度末に満年齢 58 歳以上に到達する正規職員

（２）60 歳以上 65 歳未満の嘱託職員

【参加者】8 名

④ メンタルヘルス兼人権研修

テーマ「よりよい人間関係のためのコミュニケーション

～自分も相手も大切にした自己表現～」

【開催日】1 月 29 日（水）

【講　師】梅原睦美氏（医療法人同仁会 社団 同仁会クリニック）

【場　所】水口社会福祉センター

【対　象】全職員、理事、監事、第三者委員、甲賀市介護サービス事業者協議会

ふくしマンパワーねっとこうか登録団体

【参加者】合計 177 名

⑤ テーマ「安全運転講習」

【開催日】11 月 21 日（木）

【内　容】ドライブシュミレーターによる体験型研修と交通安全の話

【講　師】甲賀警察署　植田巡査部長

【場　所】水口社会福祉センター

【対　象】全職員（パート職員含む）

【参加者】98 名

《人権研修、会議（外部開催）への参加状況》

参加日	研修名・内容・講師	実施場所
4.19(金)	甲賀市企業人権啓発推進協総会 特別研修	忍の里プララ
5.17(金)	甲賀市人権教育推進協議会甲賀支部研修	かふか生涯学習館
6.5（水）	採用選考研修会並びに新規学校卒業者対象求人手続き説明会	碧水ホール
7.12(金)	経営者トップ研修会「企業の社会的責任(CSR及びSDGs）と人権」	忍の里プララ
7.22(月)	知的障がい者等支援にかかる研修会	浜大津明日都
9.11(水)	甲賀市企業人権啓発推進協議会フォーラム	碧水ホール
10.11(金)	甲賀市企業人権啓発推進協議会フィールドワーク	豊郷町地域総合センター周辺
10.23（水）	「同和対策事業特別措置法」制定 50 周年記念集会	近江八幡市文化会館
10.29（火）	甲賀市企業内人権啓発窓口担当者ステップアップ連続講座	碧水ホール
11.14(木)	甲賀市企業内人権啓発窓口担当者ステップアップ連続講座	碧水ホール
12. 8(日)	人権尊重と部落解放をめざす県民のつどい	県立文化産業交流会館
12.10(火)	甲賀市企業人権啓発協議会会員対象研修会	碧水ホール
1.26(日)	部落問題映画＆学習会	ひこね市文化ホール
1.27(月)	こうか市民共生ネットワーク人権研修	甲賀市役所別館
2.8（土）	部落解放研究第 27 回滋賀県集会	県立文化産業交流会館
2.12(水)	令和元年度事業所内公正採用選考・人権啓発担当者研修会	サンヒルズ甲西

≪交通安全運動の実施≫

①交通安全無事故無違反運動

【期　間】10 月 1 日（火）～12 月 13 日（金）

【対　象】甲賀市社会福祉協議会全事業所　全職員（正規・嘱託・パート）

②“4 時からライト”点灯運動の実施

事故防止のため、夕方 4 時からのヘッドライト点灯を啓発

【期　間】9 月 23 日（月）～3 月 20 日（金祝）

③全国交通安全運動期間における通行車両への安全運転啓発

交通安全のぼり旗による通行車両への啓発（課長級以上）

【期　間】春と秋の全国交通安全週間の期間中

≪安全衛生委員会の開催≫　　会場：水口社会福祉センターにて

衛生管理者１名　安全衛生推進者 10 名

実施日	内　　容
4/10（水）	受動喫煙対策法と禁煙対策について、安全衛生方針について
5/10（金）	五月病について、転倒災害の防止について
6/10（月）	梅雨の過ごし方について、ストレスチェックについて
7/10（水）	冷房の使い方について、労働災害の発生状況について
8/16（金）	熱中症の対処法について（メール会議）
9/10（火）	救命処置について、メンタルヘルスについて
10/9（水）	心理的安定性について、健康アクション宣言について
11/11(月)	過労死について、ウォーキングの奨励について
12/10(火)	インフルエンザについて
1/10（金）	マスクについて、ストレスチェックの結果について
2/10（月）	血栓症について、新型コロナウイルスについて、転倒防止について
3/11（水）	新型コロナウイルスについて、職場の危険箇所について

（７）新型コロナウイルス感染予防対応

①新型コロナウイルス感染症にかかる小学校休業等の臨時休業等により、仕事を休まざるを得なくなった全職員（正規・嘱託・パート職員）に対して、特別有給休暇の付与を行った。

期間　令和２年２月 27 日～令和２年３月 31 日

人数　正規：４人　　パート：３人

※令和２年６月 30 日まで延長

②子どもの世話が必要な職員について、職場での同行出勤を認めた。

③職員への新型コロナウイルス感染症予防に対する周知および健康観察票呼びかけ

・職員出勤前検温　・手洗い・アルコール消毒

・マスク着用・咳エチケット等の励行　　・公共交通機関利用職員の時差出勤の許可

④職員の外出（研修）・出張等について、延期若しくは中止指示

⑤イベント等開催および参加について、延期若しくは中止指示

⑥除菌電解水給水器（酸性電解水）の設置

職員の手・指や施設周辺の細菌を洗浄・除菌を行うため、水口社会福祉センターに設置。全事業所で活用して除菌に努めている。また、地域で活動する福祉団体やボランティアグループなどにも活用の際に利用してもらうよう呼びかけを行った。(※令和２年５月)

⑦事務所内の全職員の同時感染拡大を予防する為、水口社会福祉センター1 階のフロアの

み、2 交代制勤務を行った。（※令和 2 年 4 月 23 日～5 月 17 日）

（８）法人関係会議、行事への参加他

1．甲賀市関係等

会議、行事名等	参加者
甲賀市民生委員児童委員研修	会長
甲賀市同和人権事業促進協議会指導委員会	会長
甲賀市民生委員児童委員推薦会	会長
甲賀市戦没者追悼式	会長、事務局長
甲賀市民生委員児童委員退任式	会長、事務局長
甲賀市子ども子育て応援団会議	会長
甲賀市民生委員児童委員委嘱状伝達式	会長、事務局長
甲賀市同和人権事業促進協議会	会長
甲賀市成人式	会長
甲賀市介護保険運営協議会	理事、事務局長
甲賀市セーフコミュニティ自殺対策委員会	事務局長
甲賀市災害福祉講演会	会長、事務局長
甲賀市障害者福祉施策推進協議会	事務局長
甲賀市公共交通活性化協議会	事務局長
甲賀市自殺対策ネットワーク会議	事務局長

２．滋賀県関係

会議、行事名等	参加者
滋賀県社会福祉学会実行委員会	会長、担当職員
社会を明るくする運動	会長
滋賀県市町社協会長会セミナー並びに総会	会長
滋賀県共同募金委員会役員研修会	会長、理事、事務局長
滋賀県社会福祉協議会評議員会	会長
市町社協会会長会・事務局長合同会議	会長、事務局長
日本赤十字社滋賀県支部第２回評議員会	会長
滋賀県社会福祉学会	会長、副会長、理事、事務局長

３．関係機関

会議、行事名等	参加者
るりこう園秋の運動会	会長
各地区区長会	理事、担当職員
滋賀銀行私募債車いす贈呈式	会長
ゆうゆう甲賀クラブ女性リーダー研究集会	会長
甲賀市更生保護女性研修会	会長
合同運動会	副会長
土山マラソン共同募金啓発	理事
JAこうか愛の米贈呈式	会長
つながるフェスタ～ぼっちゃで交流～	会長、事務局長

福祉フォーラム「８０５０問題を考えよう」	会長
信楽学園演劇発表	副会長
甲賀市視覚障害者福祉協会	会長、事務局長
水口町更生保護女性会総会	事務局長
甲賀市民生委員児童委員協議会総会	会長、事務局長
甲賀地域公共交通活性化協議会	事務局長
ここねっとふれあい農園開所式	事務局長
甲賀市ボランティア連絡協議会総会	事務局長
甲賀市介護者の会総会	会長
サニーサイド文化祭	副会長
地域生活支援センターしろやま運営協議会	事務局長

Ⅱ．ご近所福祉でまちづくり

１．甲賀市ご近所福祉推進委員会

【構成】委員 13 名（自治振興会、地域福祉協議会、甲賀市民生委員児童委員協議会、ゆうゆう甲賀クラブ、甲賀市赤十字奉仕団連合会、甲賀湖南圏域成年後見センターぱんじー、甲賀市手をつなぐ育成会、甲賀市国際交流協会、障がい者関係機関他）

【会議】1 回　11 月 15 日、（3 月 16 日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

【内容】第 2 次甲賀市地域福祉活動計画の進行管理
各町地域のご近所福祉推進協議会等の情報交換
災害にも強い地域づくりプロジェクトの推進、協議
第 3 次甲賀市地域福祉活動計画の策定について

２．地域（町）ご近所福祉推進協議会

第 2 次甲賀市地域福祉活動計画に基づく「見守り・支えあい・発見解決」「地域の居場所づくり」、「ふくしネットワーク」「災害に強い地域づくり」の 4 つのプロジェクトを推進するために、地域のニーズや実態に応じ、地域ごとに協議会を設置した。協議会のメンバーは、自治振興会や区自治会、また、各分野で活動をされている方などが集まり、地域の課題解決に取り組む自立した住民活動となるように支援した。

①水口地域ご近所福祉推進協議会

【体制】７名（会長及び副会長 2 名　協議員５名）（民生委員児童委員協議会、障がい者施設、国際交流団体、NPO 団体、子ども食堂グループ、介護予防ミニサークル、行政）

【会議】定例会　概ね毎月 1 回　年間 8 回　　その他　役員会（三役会）年間 8 回

【活動内容および成果】

モデル地区や自治振興会圏域の課題についてご近所福祉推進協議会のメンバーとともに支援協力した。

・貴生川見守りプロジェクト会議・見守り活動ネットワーク会議　　年間 7 回参加

地域の中で発生する様々な福祉課題を発見し、災害時だけでなく日常的に「見守り活動」をすすめることによって、誰もが安心した生活を送ることができるよう住民の支えあい活動に取り組む。合わせて、見守りプロジェクト会議において、話し合ってきた内容をもとに、貴生川地域で、それぞれの区や自治会にあった「見守り体制」を進めるにあたり「見守りネットワーク準備会議」を開催することとなった。

・水口学区生活支援ボランティア養成講座の開催　（4 回シリーズ）

期　日：①10 月 23 日（水）②10 月 29 日（火）③11 月 6 日（水）④11 月 19 日（火）

参加者：受講生・ご近所福祉推進協議会・事務局　20 名

講座終了後、参加メンバーで、グループ化につなげることはできなかったが、参加者の中には、地元の区で立ち上げに向けて進めていきたいとの意見も聞かれた。

②土山地域ご近所福祉推進協議会

【体制】9 名（会長及び副会長 2 名　協議員 6 名）（自治振興会、民生委員児童委員、防災組織、福祉団体、ボランティアグループ当事者団体、行政など）

【会議】コア会議含め　年間 23 回

【活動内容および成果】

・土山地域の「サロン活動」の実態調査

・「サロン活動」の研修

・課題を抽出し、今後の「サロン活動」のあり方について検討。

・「土山地域田舎の地域づくりフォ―ラム 2019」の実施

テーマ：居場所と役割づくりで土山がニコリ　12 月 7 日(土)

・広報誌の発行（土山がニコリの発行）

・土山地域&福祉事業所課題解決ネットワーク研修会

土山地域ご近所福祉推進協議会が土山地域の「サロン活動：の現状と課題を説明し地域と福祉事業所との協働の可能性について懇談を行う。

・土山地域防災講習会（共催）

主に土山地域の区長を対象に地域防災活動事例を紹介し、区民の防災意識の向上と自主防災組織の設立と活動の活性化を進める。

・サロンスタッフ研修会・情報交換会（共催）

私の地域のサロン活動、今後も長く続くサロン活動について意見交換

③甲賀地域ご近所福祉推進協議会

【体制】13 名（会長及び副会長 2 名　協議員 8 名）

（自治振興会、福祉関係団体、高齢者福祉施設、ボランティアグループ、行政）

【会議】コア会議含め　年間 19 回

【活動内容および成果】

各自治振興会や地域マネジャーにも協議員として参画を図り、従来にも増して幅広い視点のもとで甲賀地域の福祉課題について協議を進めた。協議会としては以下の内容に取り組んだ。

・ニーズ調査（アンケート分析・その他）

・社会資源調査（　〃　）

・生活支援ボランティアグループ発足支援

・10 月　広報紙第 1 号の発行（甲賀地域全戸）

・2 月　第 3 回甲賀地域ご近所福祉フォーラム～こうかのささえあいカフェ～の開催

場所：かふか生涯学習館

内容：第 1 部

＜情報提供＞住民主体の支えあいづくり／甲賀地域包括支援センター

＜話題提供＞①居心地の良い地域の支えあい

②おでかけサポート号にのって／大原上田区

③気になる人を“ご近助”で支えあう／田堵野区

第 2 部

＜ディスカッション＞
第一部の各話題提供者を囲みフリーディスカッション（協力：喫茶お和しす）
参加：116 人

④甲南地域ご近所福祉推進協議会

【体制】15 名　（会長及び副会長 3 名　協議員 12 名）（民生委員児童委員、区役員、地域福祉協議会、ボランティアグループ、おたっしゃ広場関係者、当事者団体、行政）

【会議】年間 11 回　　（役員会　年間 11 回）

【活動内容および成果】

地域の課題把握や今後の方向性を協議

・拡大会議の開催　第 1 回 5 月 15 日(水)　地域マネジャーとの情報交換、地域課題の共有
　　第 2 回 8 月 21 日(水)　自治振興会会長との情報交換

・つなげる交流会の開催　9 月 19 日(木)　参加 67 名
第 2 回つなげる交流会を実施。テーマ別の情報交換会とした。小グループでの話し合いにしたことで、参加者が聞きたいことが直接聞き、また地域の活動を知ってもらうきっかけになった。(3 月 7 日に第 3 回つなげる交流会を予定していたが、新型コロナウイルス対応のため延期)

・オレンジカフェへの参加

・広報紙（甲南ご近所福祉だより）の発行

・研修への参加や甲賀地域福祉フォーラム、信楽ネットワークフォーラムへの参加

⑤信楽地域ご近所福祉推進協議会（信楽地域見守りネットワーク活動推進員会）

【体制】20 名（委員長及び副委員長 2 名　委員 17 名）
（区長、自治振興会、区健康福祉会、民生委員児童委員、福祉団体、生活支援ボランティアグループ、当事者団体、障がい者団体、行政）・・平成 26 年 4 月に信楽地域見守りネットワーク活動推進員会として発足

【会議】年間 10 回

【活動内容および成果】

信楽地域内の子ども・子育て家庭・障がい者・高齢者等で日常的な見守りの必要な世帯の孤立化を予防するとともに、生活上の困りごとや緊急事態を早期に発見する見守りの仕組みづくりを各区・健康福祉会等の小地域単位で推進することを目的に、信楽地域全域の推進会議を各区・健康福祉会・自治振興会・各種団体等の代表者の参画を得て設置し協議を進めた。昨年度、「生活支援ボランティア養成講座」を開催。講座終了後は受講生が中心となり、話し合いを進め、信楽地域にて生活支援ボランティアグループ「ほっと」が立ち上がり、見守り・支えあいの地域づくりを進めている。

・見守り・支えあい活動についての意見交換、協議検討

・各地区・団体等の見守りに関する活動について情報交換

・見守りネットワーク活動代表者会議（情報交換・交流会）の開催

・見守り・支えあいフォーラム 2020 in しがらきの開催

・見守りネットワーク活動先進地視察として、三重県名張市の「隠（なばり）おたがいさん」

との交流

・長浜市六荘地区社協との交流（視察受け入れ）

・見守り声かけネットワーク活動助成事業の実施他

・広報「社協こうか」、Facebook による情報発信

見守りネットワーク活動に関する情報発信　見守り・支えあい活動取組み紹介

見守り・支えあいフォーラム 2020 in しがらき情報発信

３．甲賀市災害福祉ネットワーク委員会

①災害福祉ネットワーク委員会活動支援

【設置】平成 29 年 6 月

【構成】委員７名（４月より１名追加）

（災害福祉ボランティア登録者、区・自治会、自治振興会、地域福祉協議会自主防災会、防災士連絡会、民生委員児童委員協議会、赤十字奉仕団、ボランティア連絡協議会、国際交流協会）※所属は重複

【会議】・毎月 1 回　定例委員会議（11 回）

・毎月 1 回　委員長・事務局打ち合わせ（13 回）

・事例集打合せ（各地域・団体　10 回）

【活動】・住民の暮らしと災害時の福祉課題（平常時・警戒時・災害発生時・復旧期・復興期）の整理

・平常時から進める災害福祉の取り組みとネットワークづくり

・事例冊子の作成・発行

・全国各地の災害情報の共有

・災害福祉ネットワークセンター常設化に向けた協議検討・意見交換

・市職員の参画（危機管理課、福祉医療政策課）

・甲賀市災害福祉ボランティアセンター設置運営訓練（市総合防災訓練と同日開催）

【今後】定例委員会議において、「災害」と「福祉」をテーマにしたネットワークづくりと研修会、事例冊子の作成とともに、災害福祉ネットワークセンター機能の常設化をめざして、以下の取り組みを進める。

・災害福祉ネットワーク委員会の推進

・視察研修会

・災害福祉ボランティア登録者等との研修・訓練の開催（設置運営訓練）

・災害時の甲賀市災害福祉ボランティアセンターの設置・活動について

・広報発行

②災害福祉講演会～災害にも強い地域づくり～

【開催日】令和 2 年 2 月 11 日（火）

【内　容】1 部　基調講演「これだけは知っておきたい防災対策のイロハ」

講師　佛教大学　後藤至功　氏

2部　事例発表①「平常時の取り組み」

登壇者　災害福祉ネットワーク委員会　委員長　中島仁史　氏

事例発表②「災害時の取り組み」

登壇者　甲賀市災害福祉ボランティア登録活動者　中島教芳　氏

3部　まとめのディスカッション

【参　加】336名

（区自治会、自治振興会、民生委員児童委員協議会、赤十字奉仕団、防災士、ボランティア等）

③甲賀市災害対策委員会

【開催日】・4月17日（水）　・6月13日（木）　・8月27日（火）　・12月3日（火）
・3月10日（火）※中止

【内　容】甲賀市内防災対策について（聞き取り、モデル地域支援、アンケート調査）

【場　所】甲賀市役所

④視察研修（災害ボランティアセンター先進地）

【開催日】7月22日（月）

【内　容】常設型大津市災害ボランティアセンターについて

【場　所】明日都浜大津　大津市社協内

⑤滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議

【開催日】7月23日（火）

【内　容】事例紹介3団体

（滋賀県肢体障害者の会、滋賀県視覚障害者福祉協会、甲賀市国際交流協会）

グループ討議・まとめ

【場　所】県立長寿社会福祉センター

⑥甲賀市災害時多言語情報センター等への参画

・会議　2回　8月6日（火）　・　12月26日（木）

【内　容】災害時の外国籍住民への多言語情報センターについて

【場　所】甲賀市役所　別館

・訓練

【開催日】2月22日（日）

【内　容】災害時多言語情報センター設置運営訓練・講演会など

【場　所】湖南市三雲まちづくりセンター

４．ご近所福祉活動の推進

（１）全体での取り組み

各地域福祉活動センターにソーシャルワーカー（生活支援コーディネーター）、ご近所福祉コーディネーターを配置して、ご近所福祉活動の推進支援、個別や地域の課題解決支援に取り組んだ。ソーシャルワーカーはコミュニティとの関わりを通した住民課題を具体的に解決する職員として、関係機関との連携やネットワークづくりなどの推進を行った。

また、地域での見守り支えあい活動を推進するため、モデル地区を指定し、地域福祉活動センターによる重点的な支援活動を実施した。

①子ども食堂開設支援・運営支援

「さみしさ」や「しんどさ」を抱える子どもたちを地域で見守り育てる「子ども食堂」の開催支援を行った。財源は、滋賀の縁創造実践センターおよび市からの支援を受ける。子ども食堂ネットワークこうかを立ち上げ自主的な活動および各食堂を継続できるように、そしてそれぞれで抱える課題や情報共有の場として、代表者会議を開催した。

事業運営で最も大きな課題「財源」に対し、地域や地元企業からの支援が得られるように、企業訪問をするなど連絡調整を行った。

また、子ども食堂の開催において、運営面の課題も多いが、食育の面以外に学習の面への支援に対するニーズが高く、食前や食後にボランティアが子どもたちと一緒に宿題をするなど、課題に柔軟に対応した効果的な事業運営となった。この居場所が子どもたちの癒しの場であり、子どもたちの課題が把握でき、相談できる場、解決につなげられる場としての機能を保たれるように支援した。

	名　　称	場　　所
1	夢の学習　水口料理教室	鹿深ホール、綾野小学校
2	夢の学習　土山料理教室	土山開発センター、各公民館など
3	夢の学習　甲賀料理教室	各公民館
4	夢の学習　甲南料理教室	甲南町内公民館・小中学校
5	夢の学習　信楽料理教室	信楽町内公民館・小中学校
6	たんぽぽ食堂	伴谷公民館
7	アモーレ子ども食堂	虫生野会館
8	かしわぎ「わいわい食堂」	柏木公民館
9	あやの子ども食堂	あやのみんなの居場所
10	smile door	虫生野会館
11	宇川みんなのはなまる食堂	宇川会館
12	こども食堂サボテン	牛飼公民館、貴生川公民館
13	みんなの食堂ひとやすみ♫ひとやすみ	名坂公民館
14	いろどり食堂	岩上公民館
15	子ども食堂てるてるぼうず	フリースペースＫＡＮＡＭＥ（土山）
16	スマイル甲賀大原っ子	市営住宅大原団地集会所

17	ふか輪っこ	深川公民館
18	おいで！そまっ子運営委員会	杉谷公民館

○代表者会議および三役会

【回　数】各 4 回

【内　容】情報交換、課題の共有、啓発イベントおよび啓発チラシ作成等

【参　加】子ども食堂代表者及びスタッフ、協力企業、甲賀市、滋賀県　延べ 61 名

○「遊べる・学べる・淡海子ども食堂」開設講座（滋賀の縁創造実践センター主催）

【開催日】10 月 23 日（木）

【内　容】講義「子どもを取り巻く環境と子ども食堂の意義」

講師：こどもソーシャルワークセンター　代表　幸重忠孝　氏

実践報告：たんぽぽ食堂

【場　所】水口社会福祉センター　ホール

【参　加】25 名

○市長と語ろう！市民の声でつくる「甲賀のまちづくり」座談会

【開催日】2 月 3 日（月）

【内　容】子ども食堂ネットワークこうかと岩永市長との懇談会

【場　所】甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」

【参　加】20 名

○研修会開催　　延べ人数：37 名

・セキュリティー研修 8 月 19 日（月）　・AED 研修 9 月 2 日（月）・開設講座 10 月 23 日（水）

○イベント啓発　　延べ人数：75 名

・平和堂イベント 5 月 2 日（木）　・甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」開所（5 月）

・滋賀県カレーサミット 8 月 18 日(日)　・かふか人権のつどい 9 月 29 日(日)

・関西ベストフーズ文化祭 10 月 20 日（日）　・柏木文化祭　11 月 2 日（土）

・鹿深ホール前夜祭　11 月 2 日（土）　・岩上文化祭　11 月 10 日(日)

○その他支援内容

・甲賀市子ども食堂ネットワークこうか啓発チラシ　5,000 部発行

・啓発 CD 作成（子ども食堂テーマソング）

・甲賀市子ども食堂ネットワークこうか紹介 DVD 作成

（２）水口地域福祉活動センター

①ご近所福祉ネットワーク支援

・関係機関のネットワーク会議

綾野地区「綾野学区まちづくり大交流会」

【開催日】4 月 14 日（日）

【場　所】鹿深ホール

【内　容】各種団体の活動からのプレゼンテーション

【参加者】行政、区長会、消防団、民生委員児童委員、近隣福祉施設、夢の学習、社協他 38 名

綾野地区「あやねっとワーク会議」

【開催日】①11 月 28 日（木）②1 月 23 日（木）③2 月 12 日(水)

【場　所】鹿深ホール

【内　容】テーマに合わせた各種団体ごとの活動報告、グループワークなど

【参加者】区長会、民生委員児童委員、行政、消防団、水口地域包括支援ｾﾝﾀｰ等

貴生川地区「貴生川地域見守り活動推進プロジェクト会議」

【開催日】①4 月 23 日（火）②5 月 21 日（火）　③6 月 25 日（火）
④8 月 26 日（月）⑤11 月 22 日（金）⑥12 月 20 日(金)
⑦1 月 20 日(月)

【場　所】貴生川公民館・甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」

【内　容】地域の実情に添った見守り活動の推進

【参加者】自治振興会長、部会長、区長会長、民生委員児童委員代表、社協

貴生川地区「貴生川学区学校地域連携協議会」

【開催日】4 月 26 日（金）

【場　所】貴生川小学校

【内　容】学校支援ボランティア、子ども食堂、夕やけ教室についてなど

【参加者】自治振興会、区長会、小学校長、地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、教育後援会、民生委員児童委員、主任児童委員、PTA、他

②自治振興会活動支援

地域福祉の推進を目指し、自治振興会との連携を図るとともに、地区地域福祉協議会の活動は、概ね自治振興会の福祉部門の活動として引き継がれているため、自治振興会役員会や部会、総会などに参加し、支援を行った。

○綾野自治振興会　健康福祉・スポーツ部会

【開催日】① 5 月 16 日（木）　② 6 月 13 日（木）　③ 7 月 11 日（木）
④ 8 月 8 日（木）　⑤ 9 月 12 日（木）　⑥10 月　8 日（火）
⑦11 月 14 日（木）　⑧12 月 12 日（木）⑨ 1 月 14 日（火）
⑩ 2 月 10 日（月）　⑪ 3 月 10 日（火）

【場　所】鹿深ホール

【内　容】事業報告・事業予定等

【参加者】部会員 15 名・社協 1 名

○綾野自治振興会　防災プロジェクトチーム会合

【開催日】①8 月 30 日（金）②10 月 29 日（火）③1 月 28 日（火）

【場　所】鹿深ホール

【内　容】選抜メンバーにより、今後の綾野学区の防災の方向性について検討していく。

【参加者】自治振興会会長・部会長・防災士・危機管理課・社協

○伴谷地域高齢者等移動支援検討協議会　計 6 回

【開催日】①6 月 26 日（水）　②7 月 24 日（水）③8 月 27 日（木）④9 月 20 日（金）⑤11 月 11 日（月）⑥1 月 10 日（金）

【場　所】水口交流センター　学習室

【内　容】移動支援事業実施に向けての検討会議・実証実験

【参加者】公共交通推進課長・政策推進課長補佐・長寿福祉課長・伴谷地域市民センター長・社協センター長・30 年度、令和元年度区長会長・副会長・区長 3 名・伴谷地区民生委員児童委員 2 名・伴谷老人クラブ 2 名伴谷自治振興会健康 福祉部会長・事務局長　17 名

③ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロン活動支援

【対　象】63 ヵ所

【内　容】サロンスタッフのための講座や情報交換会の開催
当日使用するレクリエーション用品の貸し出し

○山手区見守り会議

【開催日】8 月 6 日（火）

【場　所】山手集会所

【内　容】見守り会議の区民へ周知と情報交換, 地域で気になる方の情報交換等

【参　加】区長、区三役、組長、民生委員児童委員、健康推進員　社協

○大法寺区　見守り会議

【開催日】①4 月 26 日（金）②7 月 17 日(水)③10 月 16 日（水）④1 月 22 日（水）⑤2 月 12 日（水）

【場　所】大法寺区集会所

【内　容】地域で気になる方の情報交換、個別計画作成について等

【参　加】新旧区長、副区長、防災隊長、民生委員児童委員、健康推進員
むつみ会（老人クラブ）社協

○貴生川 1 区　見守り活動推進会議

【開催日】6 月 23 日（日）
【場　所】東内貴会館
【内　容】平常時からの区内の見守り活動に向けたネットワーク作りの検討
【参　加】区長、副区長、会計、福祉部長、防災部長、民生委員児童委員、健康推進員ＰＴＡ、自治振興会体育部、日赤・老人クラブ・子ども会・消防団・希望者（ボランティア）、社協

○三大寺区　見守り支援会議
【開催日】①10 月 19 日（土）②12 月 5 日（木）③1 月 23 日（木）
④3 月 24 日（火）
【場　所】いい道館
【内　容】平常時からの区内の見守り活動を令和 2 年 4 月から本格的に実働させるための検討・話合い
【参　加】区 6 役・組長・民生委員児童委員・健康推進員・サロンスタッフ・貴生川自治振興会・社協

○地区福祉懇談会
【開催日】11 月 8 日(金)
【場　所】名坂公民館
【内　容】見守り支えあい活動について
【参　加】区役員・組長・民生委員児童委員・健康推進員・赤十字奉仕団・行政他 35 人

④その他支援活動など
○関係機関等との連携
【名　称】ＪＡゆうはーと「つない手地域福祉連携会議」
【開催日】①5 月 29 日（水）　②7 月 24 日（水）③9 月 25 日（水）
④11 月 27 日（水）⑤1 月 29 日（水）
⑥3 月 25 日（水）※コロナウイルス感染拡大防止のため中止
【場　所】地域密着型サービス事業所「つない手」
【内　容】事業所の活動状況の報告・評価・必要な要望助言等
【参　加】利用者代表・家族代表・新城区長・新城区民生委員児童委員・岩上老人クラブ会長 4 人・水口地域包括支援センター・社協・ＪＡこうか理事・つない手スタッフ 2 名

（３）土山地域福祉活動センター

①ご近所福祉研修
○福祉推進員研修
【開催日】5 月 25 日（土）

【内　容】福祉推進員の役割、土山地域ご近所福祉推進協議会について
サロンで使えるレクリエーショングッズについて
【場　所】老人福祉センターフィランソ土山
【参　加】33 名、土山地域包括支援センター1 名　　社協 3 名
【連　携】土山地域包括支援センター

○サロンスタッフ研修
【開催日】11 月 16 日（土）
【内　容】認知症を正しく理解しよう、情報交換（サロン紹介・長く続くサロンって）
【場　所】老人福祉センターフィランソ土山
【参　加】22 名　区長、民生委員児童委員、福祉推進員、健康推進員、サロンボランティア
【連　携】土山地域ご近所福祉推進協議会、土山町福祉推進員、民生委員児童委員

②自治振興会支援

［大野学区自治振興会］　総会（1）　会議(1)　行事(1)
［土山学区自治振興会］　地域福祉部会議(4)　研修(1)
行事（2）その他会議（1）
［はばたけ鮎河自治振興会］　敬老会（1）

③ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロン活動支援事業
【内　容】ご近所福祉活動の拠点として、地域の見守り支えあい活動がいつまでも地域の仲間とともに生きがいを持って、安心して過ごしてもらうことを目的に、サロン活動を支援する。
【回　数】40 箇所

○地区福祉懇談会および地域活動支援
【対　象】住民（民生委員児童委員・福祉推進員・ゆうゆう甲賀クラブなど）
【参　加】社協延べ 12 名
【開　催】西野区、三軒家区、野上野区、南西区、猪鼻区

④居場所づくり

○障がい者の居場所開催　「つちやまおいでおいで」
【趣　旨】障がいのある方の余暇活動・仲間づくり・居場所づくりを通して、地域の方の障がいに対する理解やつながりをつくる。
【開催日】毎月第 3 土曜日
【内　容】おしゃべり、ゲームなど
【場　所】土山町内の空き家

【参　加】延べ人数 300 名　　社協延べ 10 名
【協力者】手をつなぐ育成会、民生委員児童委員、施設職員、ボランティアなど

○「おいでスマイル」
【趣　旨】障がいのある方の余暇活動・仲間づくり・お昼ご飯づくりなどを通して、楽しさや生きがいをもてる居場所とする。
【開催日】毎月第１土曜日
【内　容】昼食づくり、ゲーム、おしゃべりなど
【場　所】土山町内の空き家
【参　加】延べ人数 180 名　　社協延 6 名

○障がい児の居場所開催　「ほっとケーキ」
【趣　旨】障がい児の長期休暇中の仲間づくり・居場所づくりを通して、障がい当事者同士のつながりをつくる。
【開催日】7 月 23 日（火）　　8 月 27 日（火）　　1 月 13 日(月)
【内　容】昼食づくり、DVD 鑑賞、保護者懇談会など
【場　所】土山町内の空き家（おいでおいでサロン）
【参　加】延べ人数 70 名　　社協延べ 3 名
【協力者】民生委員児童委員、おいでおいでサロン、ボランティアなど

○男の居場所開催
【趣　旨】定年退職後の活動のきっかけづくり、生きがいや仲間づくりを目的に男の居場所（料理教室）を開催
【開催日】6 月 21 日（金）　9 月 27 日(金)
【内　容】地元で収穫した野菜や参加者が釣ってきた魚を使った料理づくり
【場　所】土山開発センター　調理室
【参　加】延べ人数　25 名

○子どもの居場所「みんなで楽しもうの会」
【趣　旨】学校が終わった後の子どもの遊び場づくり、地域のボランティアや保護者との交流の場
【開　催】年 8 回
【内　容】宿題、おしゃべり、ゲーム、遠足など
【場　所】清和会館
【参　加】延べ人数 160 名
【協力者】民生委員児童委員、ボランティア、保護者など

⑤その他支援活動など

○人権推進協議会土山支部への参加
【内　容】総会、部会議、学習会、研修会

【参　加】年６回

○関係機関等との連携

【内　容】清和会館（運営委員会、納涼祭等）

【参　加】年５回（イベント協力、会議参加等）

（４）甲賀地域福祉活動センター

①ご近所福祉研修

○甲賀町健康福祉会（ご近所福祉）研修会

【開催日】5 月 21 日（火）

【内　容】1）研修『災害時に誰一人置き去りにしない～個別支援計画作成に向けて～』

講師：甲賀地域ご近所福祉推進協議会　会長　中島教芳　氏

2）令和元年度地域福祉関係助成について（説明）

【場　所】かふか生涯学習館

【参　加】54 人（区長・健康福祉会・民生委員児童委員）

②ご近所福祉ネットワーク支援

○大原自治振興会見守りプロジェクト子ども食堂立ち上げ支援

○大原自治振興会円卓会議への参画

○油日自治振興会健康福祉部会会議への参画

○大原自治振興会サロンスタッフ研修会

【開催日】6 月 29 日（土）

【場　所】かふか生涯学習館

【内　容】サロンで活用できる体操やレクリエーションの紹介他

ワークショップ（サロン運営について）

【参　加】40 人

③ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロン推進支援活動

サロンへの訪問、地域サロンの運営支援、情報交換など

○子ども食堂運営支援　スマイル甲賀 大原っ子

開設に向けた具体的検討、助成金申請支援など

④甲賀地区社協（基金運営委員会）活動

○甲賀地区社協（基金運営委員会）の開催

【開催日】7 月 4 日（木）、3 月 17 日（火）

【内　容】基金の運営方針と運用について

地区社協の役割と今後の方針について

○地域福祉組織化助成事業　　（地域福祉基金充当）

【趣　旨】甲賀地域の福祉向上のため、区・自治会の健康福祉会活動へ助成を行う。

【対　象】健康福祉活動を主体的に行う区・自治会

【助成額】30,000 円

【実　績】23 件（櫟野、神、大原上田、大久保、大原中、拝坂、鳥居野、相模、大原市場、高野、油日、上野、鹿深台、田堵野、滝、毛枚、和田、高嶺、五反田、小佐治、神保、隠岐、岩室）

○福祉関係団体助成事業　　（地域福祉基金充当）

【趣　旨】甲賀地域の福祉向上のため、甲賀町内を拠点に活動する福祉関係団体が行う主体的な活動に対して助成

【対　象】甲賀町内を拠点に活動する福祉団体

【助 成 額】地区社協(基金運営)にて決定する

【実　績】団体（ゆうゆう甲賀クラブ・身体障害者更生会・更生保護女性会・赤十字奉仕団・ボランティアグループささえ愛・ほのぼのグループ・民生委員児童委員協議会）

⑤その他支援活動など

○人権推進協議会甲賀支部への参加

【内　容】総会、部会会議、人権文化創造のまちづくりをめざすつどいへの協力、街頭啓発など

【参　加】年 5 回

○甲賀荘地域密着型介護サービス運営推進会議への参加（年 6 回）

（５）甲南地域福祉活動センター

①ご近所福祉研修

○民生委員児童委員と甲南地域の全ケアマネジャーとの連携会議の開催

【開催日】7 月 12 日（金）

【内　容】１）「災害時避難行動要支援者名簿と個別計画について」
講師　甲賀市福祉医療政策課
２）「地域と専門職との連携・日常的な見守り」

【場　所】甲南公民館　大会議室

【参　加】民生委員児童委員、甲南地域のケアマネジャー、甲南地域包括支援センター社協など　計 62 名

②ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロン運営支援

【対　象】おたっしゃ広場　44 か所

【内　容】おたっしゃ広場の活動・運営相談支援、物品の貸し出し
おたっしゃ広場イベント時の主催者の相談及び支援

○子育てサロンの運営支援

【対　象】子育てサロン　6 か所

【内　容】子育てサロンの新規開設活動・運営支援・おもちゃ等の貸し出し
助成金申請支援等

○障がい児者の居場所づくり支援

【対　象】スマイルきずなサロン

【内　容】運営に関する相談・支援、サロン開催の調整、取材調整

○地域の居場所づくり支援

【対　象】ニューポリス区、新治区、希望ヶ丘本町区・希望ヶ丘区、ふか輪っ子、おいで！そまっ子、耕心区男の料理教室、

【内　容】地域福祉活動計画のプロジェクトに沿い、住民同士が交流し、お互いの顔が見える居場所づくりとして交流喫茶サロン活動の運営支援､子ども食堂開催支援

○地区福祉懇談会、講座等

【対　象】区役員・民生委員児童委員、延寿会など

【参　加】6 か所

【開催地区】（深川区地域福祉推進協議会、竜法師区地域福祉推進協議会、市原区、ニューポリスまちづくり委員会、中部自治振興会、第一自治振興会（まちづくり部会）、希望ケ丘本町（コロナウイルス対策のため中止）

【内　容】福祉懇談会､福祉サポート会議等にて見守り･支えあい活動や防災について、生活支援についての話題提供や講座調整等を行う。

○救急医療情報キット（命のバトン）配布事業　　（地域福祉基金充当）

甲南地域の住民が安心して暮らせるまちづくりの一環として、救急時に必要なかかりつけ医や薬、親族等の連絡先などを専用のケースに入れ、自宅の冷蔵庫に保管する救急医療情報キット（命のバトン）と、専用のマグネットホルダーを併せて甲南町民生委員児童委員協議会との共催により配布を実施した。

【対 象 者】希望する全ての世帯独居高齢者、高齢者世帯、障がい者、その他区・健康福祉会が必要と認めた世帯

【配布方法】各区の区組織、自治振興会、健康福祉会が民生委員児童委員と連絡調整

の上配布

【配 布 数】累計配布数 3,667 セット

○滋賀の縁創造実践センター「フリースペースせせらぎ」への運営支援・ボランティアコーディネート

【趣　旨】さまざまな事情から家庭のなかに安らぎがない、また、子どもらしく大人に甘えることができない状況にある子どもを地域の社会福祉施設を拠点に、信頼できる大人と過ごせる夜の居場所づくりとして取り組む

【内　容】対象児童の学校のコアケース会議参加、毎週のボランティアコーディネート、施設ＳＷとの連絡調整、ボランティア交流・会議

【回　数】ボランティアコーディネート（毎月）、ボランティア会議 4 回

○看護小規模多機能型在宅介護「そまの音」運営推進会議への参加

【開催日】 6 回　5 月 23 日（木）　7 月 18 日（木）　9 月 19 日（木）　11 月 14 日（木）
2 月 28 日（金）　3 月 19 日（木）※コロナウイルス対策のため中止

【内　容】 看護小規模多機能型居宅介護事業所について
地域とのつながりづくりについて（運営推進員の追加等）

【対　象】 そまの音職員、利用者家族、区長、民生委員児童委員、甲南地域包括支援センター、社協

○小規模多機能型居宅介護 JA ゆうハート「むすん手」地域連携会議への参加

【開催日】 5 回　7 月 30 日（火）　9 月 24 日（火）　11 月 26 日（火）　1 月 28 日（火）
3 月 24 日（火）※コロナウイルス対策のため中止

【内　容】　地域（各区自治会）への参画・連携について
むすん手と地域との協力について

【対　象】　むすん手職員、区長、老人会会長、家族会代表、民生委員児童委員、甲南地域包括支援センター、社協

（６）信楽地域福祉活動センター

①ご近所福祉研修

○信楽町民生委員児童委員人権福祉部会　公開講座

【開催日】10 月 1 日（火）

【内　容】「ネット社会と子どもたちの実態～地域における子育てについて考える～」
講師　原清治氏（佛教大学副学長 教育学部教授）

【場　所】県立陶芸の森　信楽ホール

【参　加】民生委員児童委員、地域住民、社協など　計 50 名

②ご近所福祉ネットワーク支援

○各区、健康福祉会、自治振興会等　見守り・支えあい活動支援

【内　容】見守り会議、生活支援活動（買い物・移送等）検討・視察研修、福祉懇談他

支援先	内容	支援回数
多羅尾見守り安心の輪	見守り会議等	2
勅旨区健康福祉会	全体会議、小会議、世代間交流	１０
牧区健康福祉会	全体会議、見守り訪問会議等	6
西健康福祉会	見守り会議等	１０
丸岡区	住民福祉懇談会	1
杉山見守りネットワーク	見守り会議等	2
ほそはら見守りの会	見守り会議等	3
小川出区	見守り活動の検討他	1
下朝宮区	住民福祉懇談会他	2

○見守り・声かけネットワーク活動助成事業　（地域福祉基金充当）

【趣　旨】信楽地域において見守りネットワーク活動を推進するため、信楽地域見守りネットワーク活動推進委員会が信楽地域福祉基金により助成を行う。

【対　象】健康福祉活動を主体的に行う区・自治会。

【助成額】区あたり 20,000 円+戸数×100 円×3 年

【実　績】4 地区（江田、柞原、しがらきニュータウン、宮尻）総額 133,700 円

○見守りネットワーク活動代表者会議（情報交換・交流会）の開催

【開催日】11 月 14 日（金）

【内　容】見守り・支えあい活動に取り組まれている地域の代表者が一堂に会し情報交換、意見交換を行うことにより、見守りネットワーク活動の充実と住民同士の支えあい活動の推進を目的に情報交換・交流会を開催。

【会　場】信楽開発センター　大集会室

【参加者】47 名

○見守り・支えあいフォーラム 2020 in しがらきの開催

【開催日】2 月 22 日（土）

【内　容】○実践報告

進行・コーディネーター：大谷大学社会学部教授　　志藤　修史　氏

実践報告者

①外出支援の取り組みについて：甲南町ニューポリス区の取り組み

すまいるサポート NP 樫尾　重虎氏

②見守り・支えあいの地域づくり：ほそはら見守りの会の取り組み

代表　上田　雅子氏

③医療×福祉の連携：包括ケアネットワークしがらきの取り組み

信楽中央病院　院長　中島　恭二氏

○まとめのディスカッション

【会　場】信楽開発センター　大集会室
【参加者】210 名

③ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロン活動支援事業
　子育てサロン、障がい者サロン、高齢者サロンの活動内容等について、各地区福祉推進員やボランティア、当事者の相談に対応した。

○救急医療情報キット（命のバトン・マグネットホルダー）配布事業　（地域福祉基金充当）
　信楽地域の住民が安心して暮らせるまちづくりの一環として、信楽町民生委員児童委員協議会との共催、信楽町区長会の協賛により、救急時に必要なかかりつけ医や薬、親族等の連絡先などを専用のケースに入れ、自宅の冷蔵庫に保管する救急医療情報キット（命のバトン）と、専用のマグネットホルダーの配布を実施した。

・命のバトン配布事業に関する先進地視察受け入れ　彦根市稲枝地区民児協

④その他支援活動など

《社会的ひきこもり当事者支援活動》

○信楽だんだん畑（本人活動）
【趣　旨】社会的ひきこもりの状態にある若者の仲間づくり・居場所づくり・することづくりを通して、自分の目標に向かう一歩を踏み出す機会とする。
【開催日】毎月第 2・4 木曜日
【内　容】今後に向けての話し合いや発達障がいや趣味、好きなことについての情報交換、野菜作り、広報発送準備など（支援センターしろやま等専門機関と連携）
【場　所】信楽地域市民センター、信楽開発センター、畑（牧地区）
【対象者】4 名
【協力者】民生委員児童委員、主任児童委員、甲賀・湖南ひきこもり支援『奏　ーかなでー』、畑作業指導者など

○滋賀の縁創造実践センター「ひきこもり等の支援」甲賀・湖南ひきこもり支援『奏―かなで―』運営会議
【趣　旨】人とのつながりをもちづらい方や、ひきこもりがちな暮らしをしている方、その家族に、「現行の福祉サービスでは届けられない支援を届ける」ことを目指し、地域の支援関係者とともに取り組みをすすめる。
【内　容】アウトリーチ奏サロン部会・家族支援部会・地域啓発交流部会からの報告および情報共有、公開講座企画・実施等
【回　数】7 回

（７）生活支援体制整備事業

各地域福祉活動センターに第２層生活支援コーディネーター（５名）と、地域活動支援課に第１層生活支援コーディネーター（１名）を配置し、各地域に第２層協議体（５か所）を設置して、活

動支援を実施するとともに、住民主体のご近所福祉活動の推進支援を行うことにより、支援を要する高齢者に対する見守り・支えあいによる暮らしの困りごとの解決支援や、高齢者自身による活動の場を提案し「すること」「いる場所」「仲間」づくりによる生きがいづくりを進めた。

【活動件数】1,643 回（H30 年度 1,863 回、H29 年度 1,116 回）

【総稼働時間】2,732 時間 40 分（H30 年度 3,132 時間 55 分、H29 年度 2,006 時間 55 分）

①生活支援・個別支援ボランティア活動への展開

1）生活支援ボランティア活動支援

【グループ名】生活支援ボランティア「つなぎの輪」

【内　　容】土山町内在住の高齢者等への生活支援ボランティアの窓口業務、活動調整、関係機関との連携、事務的支援、初回訪問時の同行など

【グループ名】生活支援ボランティアにんにんおたすけ隊

【内　　容】甲賀町内在住の高齢者等への生活支援ボランティア。相談窓口としての受付、初回訪問同行、活動調整、関係機関との連携、その他事務的支援など

【グループ名】生活支援ボランティア「すぷーん」

【内　　容】甲南町内在宅高齢者等への初回訪問同行、依頼者や関係機関との活動調整、事務的支援、他地域への講師調整　等

【グループ名】生活支援ボランティア“ほっと”

【内　　容】信楽町内在住の高齢者等への生活支援ボランティアの立ち上げ支援

2）傾聴ボランティアグループ活動支援

【グループ名】よりそい

【内　　容】甲賀市内在宅高齢者への傾聴ボランティア打ち合わせ、学習会開催、訪問調整

【グループ名】傾聴ボランティアグループ「あい・あい」

【内　　容】水口町内在住高齢者等への傾聴ボランティア打ち合わせ、訪問調整

【グループ名】ほほえみ

【内　　容】土山町内在宅高齢者への傾聴ボランティア打ち合わせ準備、訪問調整、新規申し込み者対応

【グループ名】傾聴ボランティアつながり会ビーズ

【内　　容】甲賀町内在宅高齢者への傾聴ボランティア打ち合わせ準備、訪問調整、新規申し込み者対応

（８）地域力強化推進事業（我が事・丸ごとの地域づくり）

①我が事・丸ごとの地域づくり推進

各地域福祉活動センターにご近所福祉コーディネーターと、地域活動支援課に担当職員を配置し、誰もが役割を持ち、孤立しない「地域共生社会」の実現に向けたまちづくりを進めるとともに、福祉制度の狭間を作らない新たな仕掛けを創出することにより、地域の多様な主体による協働の仕組みづくりを進めた。

	地区	人（部）数	回数	延べ人数
①ご近所福祉推進協議会				
・役員会議	5	18	41	183
・定例会議	5	67	48	581
・研修会（フォーラム、交流会等）	4	725	9	1,191
・視察研修（協議会の研修）	1	17	1	17
・広報（広報紙、FB 等）	4	18,500	6	3,510
・その他（アンケート調査）	2	173	8	227
・その他（外部会議参加）	1	8	1	8
②地域福祉大会（我が事・丸ごとサミット）	新型コロナウイルス感染症の影響により中止			
③生活支援ボランティア養成講座	水口学区で開催（全 4 回、13 名受講・のべ 51 名）			
④外出支援活動研修会	市全域を対象に研修会を開催（1 回、47 名）			
地域市民センター、地域包括支援センター、社協打ち合わせ	5 地区で随時開催（地域の取り組み推進について調整）			
我が事・丸ごと地域共生社会の推進に係る勉強会	市主催勉強会に参加（23 名受講）			
地域の居場所（たまり場）での相談窓口開催	5 地区・105 件			
ご近所福祉コーディネーターの設置	地区担当５名、市全域１名設置			

②外出支援活動の推進

１）外出支援貸出車両貸渡事業

○山内自治振興会（土山地域）

【利用回数】1 回

【利用目的】山内公民館への送迎

○大原上田区（甲賀地域）

【利用回数】10 回（毎月第 2・4 水曜日）

【利用目的】買い物（主に水口地域）への送迎

○拝坂区（甲賀地域）

【利用回数】13 回（毎月第 1・3 水曜日）
【利用目的】買い物（主に甲賀・甲南地域）への送迎

○その他、利用検討地域への支援
【対　象】櫟野区（甲賀地域）

2）外出支援ボランティア講座
【開催日】9 月 29 日（日）
【場　所】かふか生涯学習館　2 階研修室
【内　容】講演「住民主体の外出支援って何？~地域の力でできること！~
講師　関西 STS 連絡会　柿久保浩次氏（NPO 法人全国移動ネット副理事長）
【参　加】47 名・社協 4 名

③ご近所福祉活動推進啓発（事例集・ＤＶＤ）の作製
1）ふれあいいきいきサロン活動事例集（高齢者編）
市内 174 か所の高齢者サロンへご近所福祉コーディネーターが取材を行い、サロンの事例集としてまとめた。

2）ご近所福祉活動推進啓発資材（ＤＶＤ）
あいコムこうかの協力を得て、市内で取り組まれている見守り会議・訪問、生活支援ボランティア活動、居場所づくりの活動の映像をまとめたＤＶＤを作製した。

④その他
あいコムこうか番組審議会への参加　　3 月 4 日（水）

５．地域活動推進助成事業

（１）ご近所福祉活動助成

（共配）（社協会費）（善意銀行）

【趣　　旨】「ご近所福祉のまち甲賀」をめざし、区・自治会単位で住民が主体的に実施する見守りや支えあい活動、ふれあいいきいきサロン活動等を推進するため、自治会や地域福祉組織が行う主体的な活動について助成を行う。
【助成対象】健康福祉会、区・自治会、地域福祉推進協議会など
【助 成 額】前年度の社協会費・赤い羽根共同募金取りまとめ額に 2 割を乗じた額に均等割り 5,000 円を加算した額を限度とする。
【助成実績】177 件　4,244,000 円

ご近所福祉活動助成一覧（地域別）

地　域	R1 年度		30 年度		29 年度	
	助成件数	助成額(円)	助成件数	助成額(円)	助成件数	助成額(円)
水　口	75	1,841,000	74	1,852,000	71	1,753,000
土　山	35	462,000	29	448,000	29	436,000
甲　賀	23	672,000	23	672,000	23	677,000
甲　南	25	738,000	25	744,000	25	764,000
信　楽	19	531,000	17	500,000	17	544,000
計	177	4,244,000	168	4,216,000	165	4,174,000

（２）ふれあいいきいきサロン支援・助成事業

○ふれあいいきいきサロン活動助成　（社協会費）（共配）（善意銀行）

【趣　　旨】「ご近所福祉のまち甲賀」をめざし、地域住民が主体的に開催するふれあいいきいきサロン事業に対して助成を行う。

【助成対象】家で閉じこもりがちな支援を必要とする人を対象に住民同士の見守りと支えあいを目的として継続的に実施される地域の中の居場所づくり活動に対して助成

【助 成 額】年 12 回以上の開催サロンに年額 24,000 円
年 6 回以上の開催サロンに年額 12,000 円

【助成実績】　181 カ所　2,936 回　3,924,000 円）
（H30＝185 カ所　2,957 回　4,020,000 円）
（H29＝182 カ所　2,840 回　3,948,000 円）
（H28＝183 カ所　2,870 回　3,996,000 円）

ふれあいいきいきサロン助成内訳（地域別）

地　域	地域サロン数	参加対象（重複あり）			サロン開催回数	助成額（円）
		高齢者	誰でも	子ども		
水　口	66	45	20	2	1,286	1,428,000
土　山	26	23	3	1	343	492,000
甲　賀	25	23	3	0	347	552,000
甲　南	44	37	5	2	535	1,008,000
信　楽	20	19	1	0	425	444,000
計	181	147	32	5	2,936	3,924,000

○広域ふれあいいきいきサロン活動助成

（共配）

助成対象団体	助成サロン数	総金額（円）
みんなくる会、広域サロンおいでおいで、スマイルきずな、いきいきサロン金曜日、子育て広場わのわのわ、のびのび会、ほのぼのグループ、信楽つどいの会、あくてぃす紫香楽、ボランティアグループささえ愛、ふれあいサロンカフェふらっと、スマイル甲賀サロン	12	276,000
合　　計	12	276,000

６．当事者支援

（１）子育て支援

○子ども・子育て応援団ネットワーク（水口地域会議）・・年３回

【参　加】水口子育て支援センター、地域包括支援センター、水口西保育園、水口民生委員児童委員、主任児童委員、チアーズステーション、アプリコット、社協

【内　容】子育てに関わる関係団体、関係者による情報交換、

○土山地域子育て支援ネットワーク会議

【参　加】土山子育て支援センター、土山にこにこ園、大野保育園、主任児童委員、民生委員児童委員、子育てグループ、保健センター、鹿深ホール、社協

【内　容】子育てに関わる関係団体、関係者による情報交換、および、地域一丸となって支援できるシステム構築の検討

○子育てサロンの運営支援（甲賀地区）

大原市場区、鳥居野区、油日学区の３カ所

○子育てサロンの運営支援（甲南地区）

寺庄、ニューポリス、宮学区、第二学区、耕心、希望ケ丘、野田の７カ所

○甲南地域子育て支援ネットワーク会議（甲南地区）

【参　加】子育て支援センター、子ども応援課、甲南幼稚園、甲南のぞみ保育園、各保育園６園、主任児童委員、民生委員児童委員、放課後児童クラブ、社協

【内　容】子育てに関わる関係団体、関係者による情報交換、および、地域一丸となって支援できるシステム構築の検討、子育てに関するボランティアのコーディネート、子育てサロン開設支援

○子どもに関わるネットワーク会議

【参　加】甲南第一小学校、民生委員児童委員、フリースペースせせらぎ、スクールガード、社協

【内　容】気になる児童の対応と見守りについて（長期休暇中）
連絡体制の確認と共有

○地域子育てサロンへの支援（信楽地区）

【参　加】信楽地域の未就園児とその保護者
長野子育てサロン、神山・江田子育てひろば、雲井子育てサロン、小原子育てサロン、朝宮子育てサロン

【内　容】自由遊び、情報交換、交流、研修会など

【スタッフ】おもちゃライブラリー・主任児童委員・民生委員児童委員・福祉推進員

○話そうサロンママの輪（信楽地区）・・年 3 回

【参　加】子育てサロン代表者、子育て支援センター、主任児童委員、社協

【内　容】情報交換

○信楽地域子育て支援ネットワーク会議（信楽地区）

【参　加】信楽子育て支援センター、信楽地域包括支援センター、子育て世代包括援センター、信楽中央公民館、信楽にこにこ園、明照保育園、雲井保育園、朝宮保育園、主任児童委員、民生委員児童委員、たけのこ児童館、社協

【内　容】子育てに関わる関係団体、関係者による情報交換および地域一丸となって支援できるシステム構築の検討

（２）高齢者支援

（共配）

①ひとり暮らし高齢者実態調査・命のバトン配付・見守り

【目　的】市内に在住の 65 歳以上のひとり暮らし高齢者世帯が安心して暮らせる健康福祉のまちづくりをめざし、安否確認、実態把握調査をするとともに救急など非常時に備える。

【内　容】市内のひとり暮らし高齢者世帯へ、民生委員児童委員が訪問し、調査を行い、希望者に救急情報用紙の入った「命のバトン」を配付する。

【対象者】甲賀市内に住む 65 歳以上のひとり暮らし高齢者

【協　力】甲賀市民生委員児童委員協議会連合会

○甲賀市内　65 歳以上ひとり高齢者暮らし世帯実態調査

	令和元年度	30 年度	29 年度	28 年度	27 年度
水口	943	888	882	839	821
土山	232	225	205	207	235
甲賀	284	258	256	230	259
甲南	491	488	449	407	390
信楽	504	482	460	472	439
合計	2,454	2,341	2,252	2,155	2,144

②移送サービス事業（市受託）

外出移動が困難な方の通院の際にリフト付きの移送サービス専用車輛により送迎する。

移送車輛は水口に置き、専用の車輛 2 台を運行した。

○対象者数（町別・区分）

町名	対象者数 R1	延利用者数 R1	対象者数 H30	延利用者数 H30
土山町	7	164	10	224
甲賀町	6	402	6	368
甲南町	6	225	10	311
信楽町	4	50	8	111
合計	23	841	34	1,014

（３）障がい者支援等

①つどいの開催　（歳末たすけあい募金配分金事業）

○つながるフェスタ 2019（広域）　（歳末たすけあい募金配分金事業）

【開催日】12 月 14 日（土）

【内　容】テーマ「優しさいっぱい　つながるフェスタ～ボッチャで交流～」
ボッチャ体験会・ステージ発表・ゲーム・模擬店・抽選会など

【場　所】甲賀市　碧水ホール　全館

【対　象】心身に障がいのある者および障がい者支援団体および一般住民

【参加者】327 名

【その他】実行委員会形式で開催
協力：身体障害者更生会、民生委員児童委員協議会、赤十字奉仕団、福祉作業所（さわらび、サニーサイド、甲賀）、るりこう園、手をつなぐ育成会、更生保護女性会、スポーツ指導員、中学生Ｖ、甲賀市、社協等

○第 18 回ふれ愛クリスマス（信楽）　（歳末たすけあい募金配分金事業）

【開催日】12 月 15 日（日）　社協 2 名

【内　容】ふれ愛ステージ、模擬店、餅つき、ステージ発表、ハンドベル演奏など

【場　　所】紫香楽ヴィラ
【参加者 】約 180 名
【その他】実行委員会形式で開催
協力：甲賀市手をつなぐ育成会、甲賀市身体障害者更生会、信楽つどいの会、親友会、信楽青年寮、信楽学園、ワークセンター紫香楽、信楽くるみ作業所、しがらき地域生活支援センター、ふれ愛パーク、甲賀市ボランティア連絡協議会，民生委員児童委員協議会、ふれ愛キャンプ実行委員会

○第 48 回合同運動会（支援事業）
【開催日】10 月 20 日（日）
【場　所】信楽体育館
【参加者 】約 260 名
【その他】合同運動会実行委員会で開催
協力：ワークセンター紫香楽、信楽学園、信楽くるみ作業所、信楽青年寮、しがらき地域生活支援センター、信楽つどいの会、親友会、甲賀市手をつなぐ育成会信楽支部、地域福祉活動センター）、民生委員児童委員協議会、赤十字奉仕団

７．団体支援

（１）甲賀市民生委員児童委員協議会連合会

○甲賀市民生委員児童委員協議会連合会

	内　　容	回数
1	理事会（定例）	12
2	全員研修会（児童虐待）	1
3	専門部会長会議	3
4	専門部会研修	6
5	理事県外研修	1
6	会計監査会	1
7	総会	1
8	事業計画・予算検討会議	1
9	特別事業（啓発映画会）※台風のため中止	1
計		27

○各町民生委員児童委員協議会

水口	内　　容	回数
1	総務部会	12
2	全員協議会	6
3	総務部会･専門部会合同会議	3
4	地区民生委員児童委員協議会（水口・岩上）	6

5	地区民生委員児童委員協議会（綾野）	6
6	地区民生委員児童委員協議会（柏木）	6
7	地区民生委員児童委員協議会（伴谷）	6
8	地区民生委員児童委員協議会（貴生川）	6
9	各部会別研修	12
10	監査会	1
11	四役会	2
12	広報発行　16,000 部	1
計		67

土山	内　　容	回数
1	定例民生委員児童委員協議会	12
2	三役会	12
3	各種研修会	1
4	高齢者福祉部活動	2
5	障害者福祉部会　作業所支援	12
6	児童福祉部会活動	2
7	人権研修	2
8	県外視察研修	1
9	ひとり暮らし高齢者等実態調査、他	1
10	広報紙編集発行　2,500 部	8
計		53

甲賀	内　　容	回数
1	定例民生委員児童委員協議会	12
2	専門部会	3
3	広報編集会議	8
4	県外研修	1
5	施設奉仕作業（甲賀荘・かふかの里･鹿深の家）	4
6	児童福祉部会研修	1
7	生活福祉部会研修	1
8	障がい者福祉部会研修	1
9	人権福祉部会研修	1
10	救急医療情報キット（命のバトン）配布事業	通年
11	ケアマネジャーとの意見交換会	1
12	監査会	1
13	三役会	12
14	広報紙編集発行　3300 部	1
計		47

甲南	内　　容	回数
1	定例民生委員児童委員協議会　会議	11
2	役員会	1
3	日帰り研修	1
4	宿泊研修	1

5	児童福祉部会研修「四つ葉のクローバー」	1
6	人権福祉部会研修「信楽学園」	1
7	障がい者福祉部会研修「かがやき」	1
8	民生委員児童委員とケアマネジャーとの意見交換会	1
9	広報委員会	5
10	広報紙発行・編集　6,600 部	1
11	地域見守りマップ作成支援	通年
12	三役会	12
13	監査会および決算会計事務処理支援	3
計		39

信楽	内　　容	回数
1	全員協議会（総会・各部会研修会）	7
2	役員会（三役会・役員会）	15
3	正副部会長会	2
4	会計監査	2
5	地区民児協（4 地区民児協）	12
6	部会（人権福祉部会）	2
7	県外研修会	1
8	公開講座	1
9	啓発活動（啓発用テッシュ配布 公開講座時）	1
10	県外・市外民児協交流会	1
11	救急医療情報キット「命のバトン」配布事業	通年
12	広報紙編集発行　3,900 部	1
計		45

（２）介護者の会

○介護者の会（当事者団体）支援　（全体）

【内　　容】総会、役員会、研修会、交流会、つどい、施設見学など

【開　　催】17 回

【参　　加】延べ 233 名

【広報発行】年 2 回（編集・配布支援）

○介護者サロン開催支援

町名	開催日 13:30～15:30	内　　容	場　所	回数	参加者数
水口	毎月第 2 火曜日	交流会（意見交換、相談）、施設見学、研修会	水口社会福祉センター	12	90
土山	毎月第 3 水曜日	懇談・相談・リフレッシュ・交流会	フィランソ土山など	11	60
甲賀	毎月第 4 水曜日	懇談・相談・リフレッシュ	かふか生涯学習館	9	69

甲南	毎月第２木曜日	懇談・相談・リフレッシュ・茶話会・料理教室	甲南第一地域市民センター別館２階	12	87
信楽	毎月第３水曜日	情報交換、意見交換、研修会、交流会等	信楽開発センターなど	10	74
認知症介護者	毎月第１水曜日	懇談・相談	佐山荘など	11	52
男性介護者	毎月第１木曜日	懇談・相談	水口社会福祉センターなど	12	60
合　　計				77	492

（３）その他団体支援

○赤十字奉仕団　　○遺族会　　○身体障害者更生会　　○手をつなぐ育成会
○ゆうゆう甲賀クラブ　○更生保護女性会

８．福祉センター等指定管理事業

（１）社会福祉センター管理・運営事業

①水口社会福祉センター（貸し館状況）　　年間 1167 団体・8981 人

・Ｖセンター　延べ利用 275 団体　　・中会議室　　延べ利用 256 団体
・身障研修室　延べ利用 320 団体
・相談室Ａ　　延べ利用 97 団体　　・相談室Ｂ　　延べ利用 219 団体

②甲賀市福祉ホール（指定管理）（貸し館状況）　年間 160 団体・15453 人

１）利用料免除
・開館日数　359 日　・利用日数　137 日　　・延べ利用団体　137 団体
２）有料
・開館日数　359 日　・利用日数　65 日　　・延べ利用団体　23 団体

（２）老人福祉センター碧水荘（水口）

〈利用者状況〉
【開館日数】年間 244 日
【延べ利用者数】年間　2,768 人※文化祭、文化祭実行委員会は他施設で開催しているため除く。

〈短期教室〉　　2 教室　　開催回数 11 回　　延べ参加人数　　77 名

	教室名	開催日	内容	開催回数	延べ参加人数
1	健康体操教室	11 月 14 日、28 日	100 歳時代に備える健康体操教	6	21

		12 月 12 日、26 日 1 月 16 日、30 日	室		
2	パッチワーク教室	11 月 14 日、21 日 12 月 12 日、20 日 1 月 10 日	初めてのかた向けのパッチワーク教室	5	56
計				11	77

〈自主サークル〉　14 サークル　開催回数 279　延べ参加人数　2,424 名

	教室名	開催日	内容	開催回数	延べ参加人数
1	水口陶芸	第 2・4 木曜日	各種陶芸の講義と実習	22	312
2	陶芸　A	第 1 水曜日	高度の陶芸実習	12	107
3	陶芸　B	第 3 水・木曜日	高度の陶芸実習	22	167
4	書道	第 1 金曜日	楷書・行書の練習	11	135
5	茶道	第 2・4 火曜日	ふくさばきとお盆点	21	183
6	音楽	第 1・3 月曜日	コーラス・ハンドベル	22	228
7	表装	第 2・4 金曜日	各種表装の実習	20	142
8	将棋	第 2・3・4 火曜日	将棋の実践と戦い方	32	234
9	デジカメ	第 1・3 木曜日	デジカメ写真撮影基本	20	198
10	絵手紙	第 2・4 金曜日	絵手紙の描き方	18	163
11	絵画 A	第 2・4 水曜日	絵画のデッサン	22	187
12	絵画 B	第 1・3 水曜日	絵画のデッサン	23	124
13	いけばな	第 1 木曜日	生け花の活け方	10	81
14	ハワイアンダンス	第 1・3 月曜日	ハワイアンダンス	24	163
計				279	2,424

〈その他事業〉　開催回数 35 回　延べ参加人数 267 名

	開催日	内容	開催回数	延べ参加人数
体験教室	7 月～9 月 ※開催日各サークルで決定	水口陶芸、陶芸 A，書道、いけばな、ハワイアンダンス、将棋、絵手紙、絵画 A、絵画 B、茶道	28	8
文化祭	9 月 21 日 22 日	サークル活動発表 作品展示	2	190
代表者会議	4 月 8 日 6 月 10 日 7 月 31 日 10 月 28 日	活動内容の検討等	4	55
文化祭実行委員会	8 月 26 日	文化祭の内容検討等	1	14
計			35	267

（３）老人福祉センターフィランソ土山

〈利用者状況〉

【開館日数】年間 243 日　　【延べ利用者数】年間 6,935 人

〈利用状況〉

○タイムケア事業　　土山町サマースクール

○ひとり暮らし高齢者活動　　ひとり暮らし高齢者のつどい

○地域の活動の拠点

土山町民生委員児童委員協議会の定例会、研修会、ご近所福祉推進協議会定例会、研修会、ゆうゆうクラブ土山支部、土山学区ゆうゆうクラブ、土山町赤十字奉仕団、土山町更生保護女性会、土山町遺族会、各サークル、子ども食堂、ボランティアグループの活動拠点として、各種研修会の会場として

○ボランティアセンター機能

社協ボランティアセンターの窓口として位置づけ

○おもちゃ、本などの貸し出し

（４）老人福祉センター佐山荘（甲賀）

〈利用者状況〉（社協事業は除く）

【開館日数】年間 150 日　【延べ利用者数】年間 2,885 人

〈利用状況〉

○高齢者サロン	ささえ愛	第 2･4 月曜日
	にこにこサロン	第 1 火曜日･第 3 月曜日
○余暇支援活動	余暇活動さんりんしゃ	第 3 土曜日
○子育て支援事業	佐山学区子育てサロン	月 1 回
	にじいろすまいる	第 3 火曜日
○小地域福祉活動	ささえ愛による配食サービス	毎週木曜日

○地域の活動の拠点

佐山学区自治振興会、手をつなぐ育成会、スポーツ少年団、佐山小学校、甲賀北保育園、佐山地区老人クラブ、佐山区長会、町内サロン、各サークルの練習拠点として、各種研修会の会場として

○ボランティアセンター機能

甲賀市社協ボランティアセンターのサテライトとして位置づけ

チラシや啓発紙・ポスター掲示など

９．甲賀市社協ボランティアセンター事業

（共同募金、社協会費）

（１）福祉ボランティア活動の活性化

① 甲賀市社協ボランティアセンター登録者・グループ数

登録者一覧表(R2.3. 31 現在)					
地域	グループ		個人登録	個人・G総数	登録人数合計
	G数	人数			
水口	62	1,618	58	120	1,676
土山	20	380	14	34	394
甲賀	31	1,495	9	40	1,504
甲南	29	1,088	49	78	1,137
信楽	25	310	31	56	341
市ＶＣ	48	1,227	2	50	1,229
（内）災害Ｖ	－	－	(105)	－	(105)
合計	215	6,118	163	378	6,281

②ボランティアコーディネート

《主なコーディネート内容》

福祉ボランティアコーディネート、ボランティア活動（志望）者相談、福祉施設ボランティア、福祉学習コーディネートなど。

（※実績数は、総合相談事業「福祉なんでも相談」に集計）

１）水口地域

生活支援ボランティアちょこっとお助け隊活動支援、うさぎのミミ活動支援、みんなくる会活動支援、サロンまなび活動支援、傾聴ボランティアグループ「あい・あい」活動支援、地域行事、福祉施設へのボランティアコーディネート

２）土山地域

サロン・地域行事等へのボランティアコーディネート、ふみグループ活動支援、ほほえみ会活動支援、生活支援ボランティアつなぎの輪事務的支援、ルージュ（作業所給食ボランティア）コーディネート、個人ボランティアコーディネート

３）甲賀地域

地域行事、福祉施設、サロン等へのボランティアコーディネート、喫茶お和しすボランティア活動支援、傾聴ボランティア活動支援、生活支援ボランティア活動支援

4）甲南地域

ボランティアグループ活動支援（もんじゃの会、手づくりおもちゃポッポちゃん、とんがりぼうし)、地域行事・団体・自主活動・おたっしゃ広場等のボランティアコーディネート

生活支援ボランティアグループ「すぷーん」の活動支援とコーディネート

5）信楽地域

障がい児・者活動支援、子育てサロン支援、あくてぃふ紫香楽活動支援、金曜会活動支援、信楽小学校特別支援学級取り組みへの支援、信楽青年寮盆踊り大会、地域サロン・行事へのボランティアコーディネート

③甲賀市介護予防ボランティア・ポイント業務

○事前説明会

【開　催】2 回（8 月 21 日、1 月 28 日）

【内　容】ボランティア活動の基本について説明

【参　加】延べ 22 名

○活動継続者研修会

【開　催】2 回（8 月 21 日、1 月 28 日）

【内　容】ボランティア活動、コミュニケーションの大切さについて

【参　加】延べ 46 名

④ボランティア保険加入事務

	ボランティア活動保険	行事保険	福祉サービス補償	送迎補償
水口	1,570 名	134 件（319 日）	3 件	5 件
土山	97 名	16 件（16 日）	0 件	0 件
甲賀	378 名	27 件（127 日）	0 件	9 件
甲南	284 名	23 件（ 44 日）	0 件	4 件
信楽	507 名	34 件（273 日）	2 件	3 件
合計	2,836 名	234 件（779 日）	5 件	21 件

（２）甲賀市ボランティア連絡協議会支援

支部名	支援内容	回数	参加延人数
市ボランティア連絡協議会	理事会、総会、交流会、視察研修など	11	416
水口支部	代表者会、役員会、交流会、研修会	16	251
土山支部	代表者会、学習会など	5	47
甲賀支部	役員会、代表者会、研修会、交流会など	21	181
甲南支部	役員会、定例会、研修会、交流会など	12	128
信楽支部	総会、定例会、研修会、ボランティアまつり、広報紙発行支援	9	205
合　計		74	1,228

（３）福祉学習等開催支援

（学校が実施する福祉学習への協力・支援）

（共配）

出前講座の実施（車いす体験、アイマスク体験、点字体験、インスタントシニア体験等）

《開催状況一覧》

	小学校		中学校		高校		専門学校		計	
	箇所	回	箇所	回	箇所	回	箇所	回	箇所	回
水口	4	5					1	1	5	6
土山	2	6							2	6
甲賀	3	5	1	1					4	6
甲南	3	4	1	9					4	13
信楽	2	4							2	4
計	14	24	2	10	0	0	1	1	17	35

《参加者数一覧》

	参加者合計（人）							
	児童・生徒・地域住民等	教諭	保護者	当事者	ボランティア	社協ヘルパー	社協（地域）	計
水口	412	22	0	6	31	0	10	481

土山	143	20	0	1	12	0	6	182
甲賀	200	9	0	1	1	0	6	217
甲南	769	29	4	5	16	4	22	849
信楽	86	6	60	2	0	2	4	160
計	1,610	86	64	15	60	6	48	1,889

※水口センター　その他（手話通訳士２名、ガイドヘルパー2 名）

（４）ボランティア助成事業

（共配）

事業名	助成対象団体	件数	金額（円）	事業内容
ボランティアグループ助成金	ボランティア連絡協議会活動助成金	1	180,000	ボランティア連絡協議会活動

１０．広報、地域福祉大会、人材育成

（１）広報紙の発行

（共配）

広報紙は、冊子版「社協こうか」の発行と老人福祉センター碧水荘だより・碧水荘デイサービスセンターだより・デイサービスセンターすこやか荘だよりを発行した。冊子版では、社協全体としての動きや啓発などを行い、特集をシリーズ化することで広く周知を行った。広報紙の配布方法は、各地区区長の協力により各町内や組を通じて配布していただいた。冊子版の発行は年３回とし、その内年１回（1 月）を新聞折り込みとした。

①甲賀市全体版発行　3 回（冊子版）　区長配布（6/15 9/15）　新聞折込（1/1）

	発行日	広報紙名	記事
1	6.15	社協こうか 第 87 号	・特集「ご近所福祉でまちづくり 4 つのプロジェクト紹介　見守り・支えあい・発見・解決プロジェクト」 ・令和元年度事業計画・予算 ・社協会費納入のお願い　他
2	9.15	社協こうか 第 88 号	・特集「ご近所福祉でまちづくり 4 つのプロジェクト紹介　ふくしネットワークプロジェクト」 ・社協会費納入のお礼、平成 30 年度事業報告・決算報告 ・サマースクールの報告　他
3	1．1	社協こうか 第 89 号	・特集「ご近所福祉でまちづくり 4 つのプロジェクト紹介　災害にも強い地域づくりプロジェクト」 ・新年のメッセージ ・すこやか café でぃもんす紹介　他

※社協会費・共同募金協力へのお礼時に広報を同封するため、発行部数に増減あり。
また、1月1日発行は新聞折り込みとした。

②老人福祉センター碧水荘だより発行　1回
教室募集チラシ　1回
③老人福祉センター碧水荘だより発行（A3）　1回
教室募集チラシ　1回
④デイサービスセンターすこやか荘だより　3回
⑤社協内広報の発行（A3両面・片面）　法人内部職員向けに発行6回

（２）地域福祉大会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止

（３）実習生の受入れ

○社会福祉士養成　社会福祉援助技術現場実習受け入れ

【実習生（期間）】花園大学　1名（8月5日～ 9月12日 24日間）
大谷大学　1名（8月5日～ 9月12日 24日間）
南海福祉看護専門学校　1名（10月8日～ 1月24日 23日間）
大原医療福祉製菓専門学校　1名（12月2日～ R2年度継続）

【内　容】社協が実施する各種地域福祉事業・活動への参加を受け入れ、援助技術を中心に指導・助言・評価を行なった。

１１．その他受託事業等

（１）障がい児タイムケア事業

（市委託事業）

タイムケア事業は、甲賀市からの受託事業であり、今年度は特に事業の在り方について大きく見直した。

まず市内５地域を２つのブロック（水口・信楽ブロックと甲南・甲賀・土山ブロック）に分けて、市内一円の施設を利用しながら、多くのボランティアや関係機関、団体の協力を得て、事故なく無事に終えることができた。

サマースクール

○障がい児支援ボランティア養成講座

【開催日】7月6日（土）
【内　容】障がいの理解と声掛けのヒントについて

講師：甲賀市発達支援課　星屋　憲志　氏
甲賀市タイムケア事業について
【場　所】水口社会福祉センター　福祉ホール
【参　加】30 名、社協 3 名

○サマースクールボランティア説明会

①市役所新人職員への説明

【開催日】6 月 28 日（金）
【内　容】「障がい児の理解と対応の仕方のヒント」と紗枚スクールの事業説明他
【場　所】甲賀市役所
【対　象】平成 31・30 年度採用職員

②甲南高校への説明会

【開催日】7 月 17 日（水）
【内　容】サマースクールボランティアとしての役割、子どもたちとのかかわり方について、他
【講　師】保護者 1 名、社協 1 名
【場　所】甲南高校
【参　加】甲南高校 総合学科（福祉と保育系列 2 年生）26 名

③水口東中学校への説明会

【開催日】7 月 18 日（木）
【内　容】サマースクールボランティアとしての役割
子どもたちとのかかわり方について、他
【講　師】保護者 1 名、社協 1 名
【場　所】水口東中学校
【参　加】水口東中学校　1 年生　40 名

○サマースクールの開催状況

地域別		水口	信楽	甲南	甲賀	土山	**市全体**	市全体（30 年度）
日数		10		10			**20**	**33**
参加者	小学生	14	10	11	3	6	**44**	**46**
	中学生	2	1	3	2	0	**8**	**14**
	高校生	2	3	0	3	2	**10**	**13**
	合計	18	14	14	8	8	**62**	**73**
一日平均参加児童数		9.5	8.1	8.6	5.6	5.0	**7.3**	**9.0**
参加児童延べ人数		95	81	86	56	50	**368**	**296**
ボランティア参加1日平均		21.6	13.0	16.8	12.1	10.2	**14.7**	
ボランティア延べ人数		216	130	168	121	102	**737**	**678**

指導員延べ人数	13	28	14	14	12	16.2	20.5
保護者（家族）延べ人数	2	8	7	3	11	6.2	
社協延べ人数	12	9	8	1	2	5	

○サマースクールの内容概要

ブロック別	概　　要
水口・信楽ブロック	開校式、マジックショー、ゴルフゲーム、ダンボール遊び、劇、缶バッチ作り、紙芝居、おもちゃ作り、水遊び、オカリナ演奏、ＤＶＤ鑑賞、消防車に乗る、紙飛行機遊び、夏祭り、キャンディボックス作り、風船遊び、粘土遊び、ミュージックケア、カレー作り、楽器と歌、お手紙を書こう、記念品づくり、思い出ライブラリー、閉校式
甲南・甲賀土山ブロック	開校式、もんじゃ焼き、出席表作り、名札作り、キッズダンス、食品学習、マジックショー、くるみボタン作り、餃子作り、お話を聞く、バス旅行、図書館へ行く、カップずし、ボッチャ体験、カプラ遊び、夏祭り、フラダンス、わくわくチャレンジ大会、紙芝居、カレー作り、ビニール傘に色塗り、バルーンアート、パフェ作り、万華鏡つくり、和太鼓演奏、お手紙を書こう、思い出ライブラリー、閉校式

○関係会議

	本部	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
指導員会議等	2 回	6 回	6 回	6 回	5 回	6 回
下見等現地視察	2 回	1 回	2 回	2 回	1 回	0 回
保護者説明会	5 回	13 名	12 名	9 名	11 名	8 名
指導員打合せ	―	6 回	6 回	6 回	5 回	6 回
ボランティアとの打合せ	21 回					
職員打合せ（市含む）	7 回					

○協力団体

（水口）水口町民生委員児童委員協議会、甲賀市健康推進連絡協議会水口支部、水口町赤十字奉仕団、水口町更生保護女性会、甲賀市ボランティア連絡協議会水口支部、サマースクール保護者会、手をつなぐ育成会、水口小学校、綾野小学校、伴谷小学校、伴谷東小学校、柏木小学校、貴生川小学校、城山中学校、水口中学校、甲賀市障がい福祉課

（土山）土山町民生委員児童委員協議会、保護者、甲賀市健康推進連絡協議会土山支部、土山中学校、土山小学校、大野小学校、甲賀市障がい福祉課、甲賀市身体障害者更生会

（甲賀）甲賀町民生委員児童委員協議会、ボランティア連絡協議会甲賀支部、健康推進員連絡協議会甲賀支部福祉部、大原小学校、油日小学校、佐山小学校、甲賀中学校、滋賀県知的障がい者相談員、甲賀市障がい福祉課

（甲南）甲南町民生委員児童委員協議会、ひまわり会（保護者会）、ボランティア連絡協議会甲南支部、甲賀市健康推進連絡協議会甲南支部、甲賀市障がい福祉課

（信楽）信楽町手をつなぐ育成会、甲賀市ボランティア連絡協議会信楽支部、健康推進員

連絡協議会信楽支部福祉部、信楽青年寮、しがらき地域生活支援センター、ワークセンター紫香楽、信楽くるみ作業所、信楽小学校、信楽中学校、信楽高校、甲賀市障がい福祉課

（２）障がい児等の居場所づくりの推進

障がい児等の居場所づくりとともに、保護者同士のつながりづくりを目的に、身近な地域に定期的な居場所をつくることで、地域福祉活動計画の基本理念である「地域で共に生きる～ご近所福祉でまちづくり～」を目指して開催した。

《水口地域福祉活動センター》

○障がい者の居場所開催　「てとてと」開催

【趣　旨】障がいのある方の余暇活動・仲間づくり・居場所づくりを通して、地域の方の障がいに対する理解やつながりをつくる。

【場　所】水口社会福祉センター

【参加者】保護者有志５名・社協２名

【開催日】①6 月 30 日（日）②9 月 7 日（土）③11 月 9 日（土）④1 月 18 日（土）⑤3 月 7 日（土）※コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【内　容】保護者同士の情報交換会・おやつ作りなど

【場　所】伴谷公民館

【参　加】延べ人数 360 名（障がい児者の保護者・子ども・民生委員児童委員ＯＢ・ボランティアなど）

《土山地域福祉活動センター》

【開催日】①7 月 23 日（火）②8 月 27 日（火）③1 月 13 日（月）

【場　所】土山町内の空き家（おいでおいでサロン会場）

【参　加】延べ人数 54 名　社協延べ３名

（３）ファミリーサポートセンター事業

（市受託）

【趣　旨】住民が仕事と育児を両立し、安心して働くことができる環境を整備するとともに、地域における子育て支援を行い、労働者の福祉の増進および児童の福祉の向上を図る。

【マッチング回数】571 件

【活 動 別 実 績】

活動内容	R1 年度（回数）	H30 年度（回数）
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	0	28
保育所・幼稚園の送り	252	150
保育所・幼稚園の迎え	130	168
学童保育の終了後の預かり	17	6

保護者の外出の場合の預かり	0	0
学童保育の迎え	0	37
子供の習い事の場合の援助	113	38
保育所・学校等休み時の援助	27	1
保護者等の短時間労働の場合の援助	0	2
保護者の病気、その他急用時の預かり	0	0
学習支援事業の送迎	0	0
その他	32	1
合計	571	431

【登録会員数】

会員名	令和元年度	30 年度	29 年度
おねがい会員	216	217	201
まかせて会員	83	89	87
どっちも会員	23	21	18
合計	322	327	306

【事 業 内 容】

	名称	開催日	時間	場所	人数	内容
講座・交流会	子育て応援講座（基礎編）	7 月 19 日（金）	10：00～12：00	甲賀市役所別館会議室 203 甲南図書交流館 甲賀市役所別館会議室 203	9	乳幼児の育ちについて（保育幼稚園課・発達支援課）
		7 月 31 日（水）			14	絵本との出会いについて（甲南図書交流館・信楽図書館担当者）
		8 月 7 日（水）			11	子どもの安全について（すこやか支援課） 事業紹介・登録お願い（各事業担当者）
	ファミサポ交流会ステップアップ講習	3 月 3 日（火）	13：30～15：30	まるーむ和室	新型ｺﾛﾅの為中止	まかせて会員さんとお願い会員さんとの交流会とステップアップ講座
広報関係	社協こうか	6 月		甲賀市内一円	1	関係機関及び全会員への配布と郵送
	甲賀市広報	7 月				全戸配布
	ファミサポ通信発行	2 月				全会員へ郵送、市内小学校・関係機関への配布と郵送
登録業務（出張）		随時		社協各地域福祉活動センター又は会員の自宅	5	センターまで来所困難なお願い会員への対応
相談業務		随時			103	利用の問合せ等

（４）こんにちは赤ちゃん事業

（市受託）

【内　容】市から委託を受け、生後３か月の赤ちゃんのおられる家庭を民生委員児童委員が訪問される際にお渡しする粗品及び子育ての情報紙の準備等を通じ、子育てで悩みを抱えるケースも多く、早期発見早期対応を目指して担当機関へつないでいます。

【訪問件数】民生委員児童委員による赤ちゃん訪問件数

	元年度	30 年度	29 年度
水口	291	338	319
土山	22	38	32
甲賀	47	45	56
甲南	131	145	155
信楽	35	45	43
合計	526	611	605

（５）ふくしマンパワーねっと事業

（市受託）

甲賀市内の福祉職場で働く　①職員の人権意識を高め　②質の高い福祉を継続的・恒常的に進めるため各事業所や個々の職員をつなぐネットワークを構築し　③福祉事業所・福祉職場で働く立場から地域課題の解決に向けた協議を行うことを目標に「ふくしマンパワーねっと」の事業を実施した。ご近所福祉推進協議会との意見交換の場を設けるなど、地域福祉課題の具体的な解決に向けて福祉関係者と地域住民がつながる場づくりを行った。

①社会福祉法人　連携・連絡会議（施設長・事業所長等を対象）

第１回

【開催日】　９月 26 日（木）

【出　席】 施設長６名、市担当課１名、社協２名　計９名

【内　容】 ・働き方改革の取り組みについて

・各法人の取り組み等の情報交換、意見交換

【場　所】 水口社会福祉センター　中会議室

第２回

【開催日】 ３月６日（金）

【場　所】 水口社会福祉センター　中会議室

※開催準備をしていたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②企画調整会議（中間マネジャー会議）

【開催日】 ９月 24 日（火）、２月 11 日（火祝）

※3/16 は開催準備をしていたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【出　席】 社会福祉法人中間マネジャー、社協

【内　容】 ・社会福祉法人の地域貢献活動について（現状と課題）

・平常時、災害時の福祉施設等の役割について

【場　所】水口社会福祉センター　中会議室

③学習会・交流会

【開催日】①9 月 24 日（火）　②2 月 11 日（火祝）

【場　所】①水口社会福祉センター　②あいの土山文化ホール

【参加者】①16 名　②16 名

【内　容】①社会福祉法人の地域貢献活動、福祉学習の実践等について

②災害福祉に関する講演他　講師：佛教大学　後藤至功さん

④人権研修会

【開催日】 1 月 29 日（水）

【場　所】 水口社会福祉センター　福祉ホール

【参加者】 177 名

【内　容】 よりよい人間関係のためのコミュニケーションについて

講師：医療法人同仁会　臨床心理士　梅原睦美さん

⑤土山地域・福祉事業所課題解決ネットワーク研修会

【開催日】11 月 21 日（木）

【場　所】フィランソ土山

【参加者】37 名

【内　容】 ・社会福祉法人の地域交流活動について

・福祉関係者、住民、福祉事業者のグループワーク（協働の可能性など）

⑥「ふくしマンパワーねっと こうか」情報の受発信

全事業所ネットを通じて、研修開催、物品提供など情報の受発信を行った。

登録事業所からイベントや地域貢献活動についての情報提供

研修案内、相互協力情報、寄附物品の利活用など

１２．被災地支援

台風 19 号災害の被災地である福島県郡山市社協に職員 1 名を派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援を行った。

【派遣先】福島県郡山市社会福祉協議会（災害ボランティアセンター）

【派遣期間】11 月 27 日～12 月 2 日まで

【派遣内容】災害ボランティアセンター運営支援

１３．機器貸出事業

貸出状況

物品	水口	土山	甲賀	甲南	信楽	貸出合計
わたがし機	19	7	6	34	6	72
ポップコーン機	25	15	6	15	16	77
かき氷	9	0	9	28	12	58
たこ焼き機	1	0	2	0	0	3
餅つき　臼と杵	1	0	0	0	0	1
レクレーション	122	99	121	42	0	384
ニュースポーツ	0	40	0	0	0	40
おもちゃ	4	218	0	21	0	243
ビンゴ道具	13	2	3	3	0	21
カラオケ・楽器	16	11	6	5	0	38
テント	32	4	0	4	0	40
車いす	293	56	48	8	39	444
スロープ	4	1	0	0	0	5
歩行器	0	0	0	0	3	3
アイマスク	63	10	1	0	0	74
点字機器	178	0	0	0	6	184

Ⅲ．医療・介護・福祉連携への取り組み

１．在宅生活支援部の事業

訪問介護事業・訪問入浴事業・通所介護事業・訪問看護事業・居宅介護支援事業

（１）在宅看取りケア・認知症ケア

①在宅看取りケアの実践

チームケアの視点で取り組んでいる在宅看取り件数は、死亡契約終了者数の　23.9%（H30 年度：38.0%）で、一定の成果をあげているものの、在宅介護に対する意識の変化がみられる。

○事業別の在宅看取り支援件数

	在宅看取り件数	死亡終了件数	在宅看取り率
訪問介護	13	43	30.2%
訪問入浴	11	32	34.4%
通所介護	1	4	25.0%
訪問看護	10	31	32.3%
居宅介護支援	9	74	12.2%
合計	44	184	23.9%

※在宅看取り件数は重複あり

②認知症ケア

認知症ケア向上を目的として、訪問介護では「介護過程の展開」、訪問入浴では「ひもときシート」、訪問看護は「ICF シート」を活用し、居宅介護支援では、自立支援の思考に基づいて、認知症になっても自宅で暮らし続けられることを目標に支援のスキルアップ向上に取り組んだ。

③「サロンいどばた（認知症介護者部会）」への参加

在宅生活支援部 13 事業所の職員 2 名が毎月輪番で「サロンいどばた」に参加。介護保険制度の疑問や認知症対応の方法等について専門職から情報提供を行うと共に、認知症介護家族の思いに寄り添い傾聴。家族の生の声を自事業運営に反映している。

④認知症キャラバン啓発事業（市受託事業）

「認知症になっても安心して暮らしつづけられる甲賀市」を目標に 5 町エリアごとに認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の啓発を実施。また、講座を担うキャラバンメイトの養成、育成を行った。今年度より、登録認知症サポーター制度を展開し、登録者とボランティア要請者とのマッチングを行い、活動の場を提供。

サポーター養成講座開催回数・受講者数　39 回・940 名
登録認知症サポーター登録者数　17 名
登録認知症サポーター延べ活動人数　6 名

⑤認知症カフェ（オレンジカフェ）の開催

デイサービスすこやか荘にて、認知症カフェを開催し、認知症の方やご家族、地域住民の方に居場所の提供を行った。

オレンジカフェ開催回数　2回

オレンジカフェ参加者数　86名

（２）各事業体制強化の取り組み

①痰吸引認定訪問介護員の育成

実施する痰吸引手技の種類追加資格取得　2名

痰吸引認定訪問介護員　5事業所　計12名（R2.3.31現在）

②障がい福祉資格取得者の増員

視覚障がい者ガイドヘルパーの資格取得の育成

・同行援護従業者養成研修一般課程修了者　1名

・同行援護従業者養成研修応用課程修了者　3名

③第38回滋賀県社会福祉学会での研究発表

2月21日（金）　訪問入浴チーム

「在宅介護における訪問入浴の役割

～在宅看取りを通して見えてきた利用者、家族そして職員の思い～」

④社協内事業所間相互応援体制

サービス提供実数の増減に合わせ、職員体制が不足している事業所への応援体制をとり、最大限のサービス提供を行った。今年度、11事業所間、総額3,862,400円の応援実績額。

（３）介護・看護人材の確保

①福祉の仕事就職フェアへの参加

6月22日（土）　碧水ホール　面談者7名

11月17日（日）　サンヒルズ甲西　面談者9名

うち1名を訪問介護員として入職につなげた。

②ハローワーク職業訓練生講義への講師派遣

11月17日（日）　「訪問介護について」「在宅看取りについて」

介護職員初任者研修課程受講生　10名　うち1名を訪問介護員として入職つなげた。

③甲賀市介護予防担い手研修の説明会に参加

7月22日・26日

受講生30名のうち、2名を担い手として入職につなげた。

２．訪問介護事業

◎介護予防日常生活支援総合事業

・訪問型サービスＡ事業所（介護予防いきいきステーション）を開設　　4 月 1 日（月）～

◎特定処遇改善加算Ｉを取得　　10 月 1 日（火）～

◎喀痰吸引特定事業所

・すでに吸引資格を取得している職員が 2 名、手技の種類を追加取得した。

・30 年度に引き続き体制強化を図り吸引資格を持った職員が事業所枠を越えて訪問。

◎職員研修

・各事業所において、資質向上を目的とした研修を毎月実施。
利用者の望む生活ができるよう根拠に基づいたサービス提供の方法として「介護過程の展開」を１年通して学ぶ。

◎介護職員初任者研修実習生受け入れ

ヘルパーステーションみなくち　　1 名　　9 月 25 日（水）

ヘルパーステーションこうなん　　1 名　　10 月 4 日（金）

◎産じょく期ヘルパーの派遣（継続受託事業）

乳児の世話、家事等の実質的な援助を行う中で産後不安になりがちな母親の相談役となり心身の負担軽減にも繋がった。（年間 3 件）

◎法令遵守

居宅サービス事業所実地指導

ヘルパーステーションみなくち　　11 月 14 日（木）

ヘルパーステーションこうなん　　12 月 18 日（水）

（両事業所共に適正な運営、文書指摘事項なし）

指定障害福祉サービス事業者等実地指導

ヘルパーステーションみなくち　　11 月 14 日（木）

ヘルパーステーションこうなん　　12 月 18 日（水）

（両事業所共に適正な運営、文章指摘事項なし）

① 安否確認安心ダイヤル事業の実施

事業所名	利用者数（人）	電話回数（回）	訪問回数（回）
みなくち	12（12）	364（364）	2（1）
つちやま	0（12）	0（305）	0（0）
こうか	12（12）	364（359）	0（0）
こうなん	0（0）	0　（0）	0（0）
しがらき	11（5）	138（62）	0（0）
計	35（41）	866（1,090）	2（1）

※（　）内前年数字

②事業運営状況

○事業所別 年間訪問介護（介護給付）利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
みなくち	551（ 592）	9,994(13,232)	18.1（22.4）
つちやま	673（ 562）	10,544（9,913）	15.7（17.6）
こうか	579（ 528）	10,626(11,215)	18.4（21.2）
こうなん	377（ 450）	7,408（9,251）	19.6（20.6）
しがらき	550（ 506）	8,634（9,461）	15.2（18.7）
計	2,730（2,638）	47,206(53,072)	17.3（20.1）
月平均	228（ 220）	3,934（4,423）	17.3（20.1）

※（ ）内前年数字

○事業所別 年間訪問介護（総合事業）利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
みなくち	11 （69）	71 （362）	5.2（5.2）
つちやま	95（102）	470 （472）	4.6（4.6）
こうか	132（134）	818 （801）	6.0（6.0）
こうなん	35（165）	184 （786）	4.8（4.8）
しがらき	54 （96）	293 （423）	4.4（4.4）
いきいき	175 （0）	686 （0）	3.9 （0）
計	502（566）	2,522（2,844）	5.0（5.0）
月平均	42 （47）	210 （237）	5.0（5.0）

※（ ）内前年数字

○障害別自立支援給付年間利用状況

サービス区分	利用者数	サービス区分	利用回数
身体	93 （87）	身体	3,722（2,855）
知的	155（173）	身体生活	163（ 120）
児童	36（36）	生活	350（ 310）
精神	148（123）	同行	71（ 76）
難病	33（ 0）	合計	4,306（3,361）
視力	52（59）	月平均	359（ 280）
合計	517（478）		
月平均	43 （40）		

※（ ）内前年数字

○甲賀市受託事業・保険外サービス年間利用状況

	利用者数	利用回数	月平均（名・回）
甲賀市介護特別給付事業	67（47）	1,600（1,502）	5.6（4）・ 133（125）
甲賀市産褥期ヘルパー派遣事業	5（27）	37（113）	0.4(2)/3.1(9.4)
甲賀市ひとり親家庭家事援助派遣事業	0（ 0）	0（0）	0（0） ・ 0（0）
甲賀市移送乗降介助事業	39（35）	99（76）	3.3（3）・8.3（6.3）
介護保険外サービス事業	123（146）	508（336）	10（12）・ 42（28）

※（ ）内前年数字

３．訪問入浴事業

◎訪問入浴サービス提供加算Ⅰを取得　10月1日（火）～

◎特定処遇改善加算Ⅰを取得　10月1日（火）～

◎滋賀県社会福祉学会　2月21日（金）

自由研究発表　「在宅介護における訪問入浴の役割」

～在宅看取りを通して見えてきた利用者、家族そして職員の思い～

・認知症や終末期、医療依存の高い利用者等様々な方が住み慣れた地域や自宅で最期まで暮らし続けれる為の訪問入浴の役割、必要性は何かを発表した。

◎在宅看取り率

サービス提供開始から終了まで短期間利用が多く、在宅看取り率は34.4%で昨年度より減。

◎法令遵守

居宅サービス事業所実地指導

甲賀市社協湯ステーション　（適正な運営、文書指摘事項なし）　12月14日（木）

①事業運営状況

○訪問入浴（介護給付）年間利用状況

事業所名	利用者数（人）	回数（回）	一人当たり平均利用回数
湯ステーション	417（400）	2,044（2,033）	4.9（5.1）
月平均	35(33)	170（169）	4.9（5.1）

※（ ）内前年数字

○甲賀市身体障害者入浴サービス事業年間利用状況

	利用者数	利用回数	月平均　名・　回
湯ステーション	40（23）	177（82）	3.3（2）・14.8（6.8）

※（ ）内前年数字

４．通所介護事業

◎年間行事の実施

・お花見、つつじ見学、敬老会、運動会、菊花展見学、年忘れ会、豆まき

◎利用者の社会参加・地域交流

・保育園児・小学生との交流会　　年間５回（にこにこ園・大原小学校）

・保育園に記念品等作成・贈呈　　年間２回（雑巾製作・卒園記念品製作）

・千羽鶴の奉納　　年間１回（広島平和記念式典）

・地域文化祭への出展　　年間１回

・オレンジカフェへの参加　　年間２回

◎自立支援への取り組み

・個別機能訓練の継続による目標の個別化（加算取得を継続）

・重度化防止によりＡＤＬ維持加算の取得

・市内３カ所の訪問リハのＰＴと連携、指導を受け在宅生活継続に向けて訓練を実施

◎看取り・認知症支援

・認知症カフェの開催（11 月 20 日、1 月 15 日）

・重度者への対応（送迎時の看護師同乗・緊急マニュアルの作成・短時間利用の受け入れ）

◎防災関係

・防災士、女性消防団と連携し、避難訓練の開催　　年２回

◎地域事業参加,福祉学習受け入れ実施

・小学生社会科学習会受け入れ

・中学生職業体験受け入れ（甲南中・水口中）

・医療専門学校の柔道整復科臨床実習の受け入れ（10 月 7 日～12 月 16 日）

・ボランティア交流　歌謡・舞踏・手芸・紙芝居・植木刈り込み　　320 名

・甲賀市高齢者介護予防ボランティアポイント制度活用　　4 名

・バリアフリーマルシェへの参画

・甲賀地域ご近所福祉フォーラム参加

・全国植樹祭滋賀 2021 への苗木育成参加

◎アンケート調査

・利用者満足度及び今後のサービス向上のためアンケートを実施

①事業運営状況

○事業所別通所介護（介護給付）年間利用状況

	利用者数	利用回数	一人当たり利用
碧水荘	480（438）	4,058（3,921）	月平均 8.5(9) 日
すこやか荘	451（449）	3,489（3,779）	月平均 7.7(8) 日

※（　）内前年数字

○事業所別通所介護（予防給付・総合事業）年間利用状況

	利用者数	利用回数	一人当たり
碧水荘	9（66）	47（288）	月平均 5.2(4) 日
すこやか荘	22（33）	164（210）	月平均 7.5(6) 日

※（　）内前年数字

○1 日平均通所者数　　（介護給付・予防給付・総合事業の合計数）

	利用者数	利用定員	通所率
碧　水　荘	15.8（13.7）	20	79（72）％
すこやか荘	11.9（13.7）	25	48（55）％

※（　）内前年数字

５．訪問看護事業

◎滋賀県立総合保健専門学校看護学科生の臨地実習

5 月 28 日（火）～令和元年 11 月 20 日（水）

学生 3 名　２クール延べ日数 71 日

◎退院支援機能強化事業　訪問看護ステーション同行・見学受け入れ

信楽中央病院　看護師　1 名　1 月 7 日（火）

◎甲賀看護専門学校生講義（福祉出前講座）

「2019 年度老年看護学実習Ⅰ」

「訪問看護について」

目　的：訪問看護の実際を学び、地域における高齢者看護を理解する

開催日：7 月 3 日（水）　看護学校　2 年生　43 名

◎他職種連携会議

地域医療を推進する開業医、薬局、ケアマネジャーと連携（令和元年 10 月 8 日）

◎他法人デイサービスとの連携訪問

令和 2 年 2 月より開始　　連携回数　42 回

◎24 時間緊急電話対応の総回数　290 回　（前年度回数：641 回　前年比 45%）

◎各種会議への委員参画

甲賀市地域ケア会議　：　高齢者虐待個別ケース検討委員

甲賀市介護認定審査会：　審査委員

◎感染管理リスクマネジメント研修（内部研修）

訪問看護職員全員（15 名）参加

①事業運営状況

○訪問看護年間利用状況

	利用者	回数	一人当たり 平均利用回数
介護給付	1,233（1,201）	5,380（5,472）	4.4（4.6）
予防給付	153（175）	376（476）	2.5（2.7）
その他	46（21）	139（61）	3.0（2.9）
計	1,432（1,397）	5,895（6,009）	4.1（4.3）
月平均	119（116）	491（501）	4.1（4.3）

※（　）内前年数字

６．居宅介護支援事業

◎介護支援専門員実務研修実習生受け入れ

ケアプランセンターぬくもり　　1名受け入れ　　2月　3日間

ケアプランセンターあい　　1名受け入れ　　2月　3日間

※本年度介護支援専門員実務研修受講試験合格者に対して専門的知識技術を習得させることを目的として現場実習を実施。

◎社協ケアプランセンター研修会開催　（ケアマネジャー全員参加）

第1回　6月14日　水口社会福祉センター

「自立支援とは何か」　　講師　：　水口医療センター　葛迫理学療法士

第2回　12月17日　水口社会福祉センター

「ケアプラン策定のための課題検討用紙について」

※自宅で暮らし続けられるケアマネジメントが提供できるようになるため、自立支援について学びを深めた。

◎各種会議への委員参画

甲賀市自立支援型小地域ケア会議：専門職（歯科衛生士）アドバイザー

甲賀市主任介護支援専門員学習会：代表者として、人材育成のための研修企画、開催に参画

◎地域包括支援センター主任ケアマネジャー出向

業務内容　甲賀市包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

出向期間　令和元年度

業務地　　甲南地域包括支援センター

◎利用者、住民への在宅看取りの啓発を継続し、令和元年度は、社協利用者ケアプラン死亡終了者のうち、12.2%の方を在宅で看取支援した。

①事業運営状況

○居宅介護支援事業実績状況

	利用者	認定調査	介護予防サービス・支援計画
ぬくもり	2,825（3,359）	208（216）	290（415）
あい	1,668（1,551）	152（112）	331（364）
しがらき	2,110（2,189）	193（185）	307（284）
合計	6,603（7,099）	553（513）	928（1,063）
月平均	550（592）	46（43）	77（89）

※（　）内前年数字　※ぬくもりの前年度実績には、ケアプランセンターそらの実績を含む

Ⅳ.「相談・支援」の取り組み

１.生活困窮者自立支援の取り組み

生活困窮者自立支援法に基づき、社会的孤立にある人・経済的困窮にある人、制度のはざまにある人などに対して、家計の管理ができるようになり、生活のリズムを取り戻し、社会ともつながることができるよう自立を支援する自立相談支援事業・家計相談支援事業を市から受託し実施した。

この事業は従来から取り組んできた総合相談事業や資金貸付事業や生活物資の提供をはじめとして、各地域福祉活動センターを拠点とした各種の地域福祉活動・支援活動等と一体的に支援活動を実施した。

（１）自立相談支援事業・家計改善支援事業の推進

（市受託事業）

① 生活相談・困窮相談への対応

【相談件数】　265 件（内訳　新規相談 75 件）

【延べ件数】　1,225 件

相談（延べ件数）の内訳　（単位：件）			
病気・障がいについて	158	地域との関係について	9
住まいについて	35	家族との関係について	83
収入・生活費について	217	子育てについて	52
家賃・ローンの支払について	89	介護について	46
税金・公共料金の支払について	76	ひきこもり・不登校について	23
債務・借金について	115	ＤＶ・虐待について	4
仕事・就職について	107	食べる物がない	94
仕事のトラブルについて	77	その他	40

② 家計相談支援の状況

【支援件数】16 件（内訳　新規 5・継続 11 件）

【支援内容】家計収支のバランスが取れていないなど、家計に問題を抱え、現に経済的に困窮している世帯について、市生活支援課と連携し自立促進を目標に、相談支援を実施する。

（債務整理手続き、滞納税等の分納手続き、給付金等受給手続き、公共料金の支払手続き、法的相談、年金申請などの同行支援等を含む。）

《研修会等》

○資金貸付担当研修会、小口資金貸付担当者会議

【開催日】1 月 22 日(水)

【場　所】長寿社会福祉センター

【参加者】自立支援調整員　１名

〇自立相談支援・家計改善支援等にかかわる会議・研修会等

〇甲賀市役所生活支援課との定例連絡会の実施

【回　数】49 回（毎週水曜日の実施）

【内　容】市・社協で受けた全困窮相談の情報共有・支援の方向性確認等を実施

【場　所】甲賀市役所

【参加者】市生活支援課、就労準備支援機関、社協

〇青少年自立支援ホーム 一歩　運営委員会

【日　時】5 月 21 日、10 月 4 日

【場　所】青少年自立支援ホーム 一歩

【参加者】一歩運営委員会委員、社協 1 名

③ひきこもり支援事業（サロンぽるた同行支援等）

生活困窮世帯でかつ閉じこもりがちな方に対して、居場所づくりや社会参加の促進を目的にサロンを実施した。

〇支援内容　個別面談（傾聴支援）、就労支援（ハローワーク・生活支援課同席傾聴支援）、自宅訪問、就労先同行支援等

④法律相談

【趣　　旨】住民の自立支援を目的に、暮らしに関わる困りごとの解決に向け法律的側面から支援する。

【開　　設】水口社会福祉センター、老人福祉センター フィランソ土山、信楽地域市民センター、かふか生涯学習館

【時　　間】13:00～16:00

【相談者数】1 回 6 人

【相談委員】滋賀弁護士会所属弁護士

【実　　績】開設日数　36 日　相談数　215 名

（２）甲賀市学習支援事業「学んでいコウカ」の実施

（市受託事業）

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮世帯の子どもたちに対し、貧困が世代をこえて連鎖することがないよう、学習・食事・生活習慣の確立などを支援し、子どもたちが自らの能力を伸ばし、社会で自立して生きていく力を身につけることができることを目的に実施される甲賀市学習支援事業「学んでいコウカ」水口・月曜教室を受託し事業実施した。

〇甲賀市学習支援事業　「学んでいコウカ」水口・月曜教室の目標

①心いやされる居場所づくりとしての取り組み

②生活習慣の確立と食の確保の取り組み

③将来の夢や職業観を持てる取り組み

④基礎的な学力定着と学力の向上のための取り組み

○水口・月曜教室の概要、実績

・開設日時　毎週月曜日（祝祭日は除く）　18:00～20:00

・開設場所　水口社会福祉センター

・登録児童　小学生 11 名、中学生 6 名、高校生 1 名

・スタッフ　学習指導員 2 名、運営サポーター14 名

・年間実績　・年 間 開 設 日 数　　40 日

・年間利用児童数　のべ 502 名

・特別企画内容　ゲストティーチャーを招き、さまざまな講話等を実施

本の読み聞かせ、防災学習、もんじゃの会、など

○学習支援事業「学んでいコウカ」に関する会議・研修会等

・学習支援事業　代表者会議

【回　数】11 回

【内　容】各教室の状況等情報交換、指導員研修等

【場　所】甲賀市役所

【参加者】市生活支援課、各教室代表者、社協

○学んでいコウカ臨時教室

新型コロナウイルス感染拡大防止による市内の小中学校と学童保育が休止となったことを受け、緊急に対応が必要な児童に対し、夕食の提供を主な目的として実施した。

・開 設 日 時　　3 月 2 日より 31 日の期間（12 回）　17:30～19:00

・開 設 場 所　　水口社会福祉センター

・対 象 児 童　　学校等の休校による影響をうける児童　8 名

・ス タ ッ フ　　学習指導員 1 名、運営サポーター2 名

・利用児童数　　延べ 68 名

（３）生活物資支えあい事業

経済的・一時的に困窮し、生活物資が必要となった相談者に対し、善意銀行の預託金品等を活用して食料等を提供することで生活再建を図ることを目的に 4 月～1 月 15 日まで実施した。

【提供件数】192 件　（参考：H30=178 件、H29＝161 件、H28＝181 件）

【提供物資】食品　1951 点、米　470Ｋｇ、その他　6 点

（米、即席めん、味噌汁、レトルト食品、味付け海苔、小麦粉、カセットボンベ、紙おむつ、布団、毛布、テレホンカード、他）

（４）フードバンク事業　ｅこころプラン

生活支援物資提供事業に代わり、生活困窮者支援やフードロス対策の仕組みづくりとして甲賀市社会福祉協議会が行うフードバンク事業として１月 16 日より実施。市生活支援課、地域包括支援センターと連携し困窮者支援を行った。

【提供と受け入れ実績】　（1 月 16 日～3 月 31 日）

・提供と受け入れ件数　142 件
・食品、生鮮食品冷凍食品の提供　1,529 点
・生活用品、物品、日用品等　109 点
・家電製品　18 点

（５）住民同士による外出支援活動の推進

○外出支援活動用貸し出し車両貸渡事業の実施

住民有志による外出支援活動を行う区・自治会、団体に対し、送迎用車両を貸出し、活動を支援する。

・貸出先となった地域、団体　拝坂区、大原上田区、櫟野区、伴谷自治振興会、山内自治振興会等

○外出支援活動の推進活動

・自治振興会が開催する円卓会議への出席
（伴谷学区、大原学区）

・地域や自治振興会の会合等での事業説明等
・市 CFT 会議での検討

２．生活支援活動

（１）資金貸付事業

①小口資金の貸付　（単位：円）

小口資金の貸付状況							
地域	新規貸付		年度中償還額	貸付金残額(3 月 31 日現在)			
	件数	金額		件数	金額	内滞納件数	内滞納額
水口	12	260,000	334,000	107	3,040,000	106	3,016,000
土山	2	40,000	75,000	13	294,000	8	272,000
甲賀	1	20,000	0	7	163,000	7	163,000
甲南	5	77,000	50,000	11	278,000	6	188,000
信楽	2	50,000	22,000	11	337,000	9	302,000
合計	**22**	**447,000**	**481,000**	**149**	**4,112,000**	**136**	**3,941,000**

※水口 2 件計 19,000 円が徴収不能となり、今年度徴収不能額計上（欠損処理）を行った。また、信楽 1 件 13,000 円が自己破産により徴収不能となったため、今年度引当金計上を行い、来年度徴収不能額計上を行う。

②生活福祉資金の貸付

1)新規貸付の決定状況（資金種別ごと）　（単位：円）

地域	総合支援資金		緊急小口資金		福祉資金		教育支援資金	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
水口	0	0	3	300,000	0	0	7	6,424,724
土山	0	0	0	0	0	0	0	0
甲賀	0	0	0	0	0	0	0	0
甲南	0	0	0	0	1	2,000,000	2	974,237
信楽	0	0	1	100,000	1	1,500,000	0	0
市計	0	0	4	400,000	2	3,500,000	9	7,398,961

地域	生活復興支援資金		臨時特例つなぎ資金		合　計		前年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		金額
水口	0	0	0	0	10	6,724,724	16	15,853,000
土山	0	0	0	0	0	0	1	100,000
甲賀	0	0	0	0	0	0	1	1,560,000
甲南	0	0	0	0	3	2,974,237	7	11,031,000
信楽	0	0	0	0	2	1,600,000	4	2,714,000
市計	0	0	0	0	15	11,298,961	29	31,258,000

2）新型コロナウイルス感染症の影響による特例緊急小口資金貸付、総合支援資金の状況

	相談件数	申請件数	貸付金額（合計）	備考
緊急小口資金 上限 20 万円	11	5	819,000	外国籍　1 件 個人事業主　1 件
総合支援資金 上限 20 万円×3 か月	1			

3 月 25 日～3 月 31 日受付分　※4 月以降も継続

（２）地域福祉権利擁護事業（こうかあんしんネットセンター）

認知症・知的・精神に障がいがあり、判断能力が十分でない人を対象に、その人の自立・自己選択・意思決定を支えるため、福祉サービスの利用援助・日常的金銭管理・書類等の預かり支援を実施した。

①支援実績

・事業利用契約者年度末数　125 件　（内生活保護件数　28 件）

・問い合わせ件数　44 件

・要調査相談件数　　28 件　　56 回
・生活支援員による支援件数　　9,025 件　（内生活保護件数　1,985 件）

②専門員、生活支援員の活動状況
・利用者ケース会議等への出席
・専門員支援員研修への出席
・圏域の自立支援協議会への参画
・担当者会議出席　滋賀県社会福祉協議会主催
・障がい者、高齢者暮らしの応援セミナー参画
・預かり物の点検、支援計画見直し
・内部監査
・訪問支援活動

③地域福祉権利擁護事業にかかる会議・研修・セミナー等の開催
１）権利擁護に関する研修会
【日　　時】7 月 12 日、8 月 22 日
【場　　所】長寿社会福祉センター
【内　　容】地域福祉権利擁護事業についての初任者学習会
【参　　加】社協 1 名

２)内部会議・ケース検討会等
○権利擁護事業利用者ケース検討（弁護士参加）
【回　　数】12 回
【会　　場】水口社会福祉センター
【参　　加】弁護士、支援専門員

○個別ケース会議（個別支援調整会議）への参加
【回　　数】42 回
【参　　加】社協延 42 名参加

３）行政会議・ネットワーク会議・研修会等
○甲賀地域 障害児･者サービス調整会議（甲賀地域自立支援協議会）
【開　　催】11 回（定例会議・全体会議、推進会議に参加）
【場　　所】甲賀県事務所
【参　　加】甲賀圏域の関係機関、関係支援ワーカー、担当者等
○甲賀市障害者虐待防止ネットワーク協議会
【日　　時】8 月 7 日、2 月 13 日
【場　　所】甲賀市役所
【参　　加】ネットワーク協議会構成員

○甲賀市障害者差別解消地域支援協議会

【日　　時】8 月 7 日

【場　　所】甲賀市役所

【参　　加】地域協議会構成員、社協

３．障がい者への相談支援・計画相談支援の実施

「障害者の日常生活及び社会生活を支援するための法律（障害者総合支援法)」の規定により指定特定相談支援事業者の指定を受け、平成 28 年 4 月 1 日から相談支援事業を実施。

相談支援専門員（兼務）を 3 名配置し、計画相談支援（サービス等利用計画の作成)・基本相談支援の事業を展開し、障がい福祉サービス等の利用を希望する障がい者の総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、もっとも適切なサービスの組み合わせについて検討し計画を作成支援した。

【相　談　件　数】 4 件

【 契 約 者 数 】33 人（水口 9、土山 7、甲賀 7、甲南 5、信楽 5)

【計 画 作 成 件 数】32 件

【モニタリング件数】89 件

（会議・研修会等）

○甲賀地域障害児・者サービス調整会議　相談支援事業ネットワーク部会への参画

地域内の相談機関による活動の情報交換・共有を行い、相談支援事業の課題に向けた取り組みを検討・実施する目的で開催された会議

【開　　催】12 回（毎月第 1 火曜日）

【場　　所】甲賀県事務所

○甲賀市・湖南市障がい者基幹相談支援センター主催研修への参画

甲賀圏域の相談員のスキルアップや、円滑な事業実施ができるように開催され参加

【開　　催】11 回（4 月および 2 月を除くの第 3 木曜日）

【場　　所】甲賀市・湖南市障がい者基幹相談支援センター

４．滋賀の縁創造実践センター事業への参画・協働

○「甲賀湖南ひきこもり支援　～奏　かなで～」への参画・活動支援

【会議等】運営会議 4 回

啓発部会 4 回

実践報告会(中止)

【内　容】ひきこもりがちな人やその家族へ支援を届けるためのモデル事業として実施

さわらび福祉会と連携して、制度にとらわれない訪問型アウトリーチ支援・交流できる居場所づくりなどを湖南市若竹町の施設を拠点に実施されている活動へ参画・支援を行った。

【場　所】甲賀健康福祉事務所

○　難病患者の住みよいまちづくりモデル事業

滋賀県難病連絡協議会と医療・福祉の関係者が協働で難病患者の住みよいまちづくりに取り組んだ。

【会議等】検討会議２回

【場　所】滋賀県　甲賀保健所

Ⅴ．福祉作業所の運営

多様な障がいがある利用者を受け入れていくため、また利用者の自立を目指し支援していくために、令和元年度も職員の質の向上をめざし、両作業所がお互いの事業を共有して運営ができるよう、パート職員も含めた合同研修会を行なうなど、両作業所が互いに交流を深め、発展していけるよう基盤強化に努めた。

また、作業所事業が地域住民のみなさんに理解してもらえるよう、ホームページへの掲載や広報誌などを作成しＰＲに努めた。

１．つちやま福祉作業所

（１）利用者の状況　（令和 2 年 3 月 31 日現在）

【利用者数】　就労継続支援Ｂ型 11 名（定員 20 名）（男子：8 名 女子：3 名）
※利用者１名退所（長期欠席者）
12 月 25 日～1 名　援護寮に入所中
3 月 4 日～1 名　通所開始（新規卒業者）

【利用者住所地】　土山町 8 名 甲賀町 2 名 水口町１名
【障がい区分】　精神：1 名 知的：9 名 知的・身体：1 名
【障害支援区分】　非該当：1 名　なし ：3 名
区分１：3 名　区分 2：2 名　区分 3：1 名　区分 5：1 名
【年間平均通所率】86.2%（H30 年度 72.9%）
【年間平均工賃】　月額 24,241 円／1 人（平成 30 年度 19,432 円／1 人）

（２）作業内容

【企業支援による内職】
・滋賀ボルト(株)　ボルト・ナットの組み立て
・(有)中島電器製作所　電気部品の組み立て
・倉英工業(株)　ゴム製品の穴あけ加工
・（有）名倉紙工　菓子箱の組み立て作業
・(株)JEJ　プラスチック製品の加工・封入

【就労支援事業】
・市委託事業　トイレ清掃・草刈り清掃業務（年間通じて）

【喫茶事業】
・すまいるかふぇ　喫茶営業（週 1 日）

【リサイクル事業】
・アルミ缶の回収（区・自治会・企業）　（株）がんさん買取
・古紙の回収（区・自治会・企業）　（株）農環 ダンボール買取

【その他事業】
・物資斡旋販売　そうめん、うどんの斡旋販売
・自主事業　米袋のリサイクルエコバッグの作成・販売

（３）所内行事

（4 月）　保護者会　お花見

（5 月）　外出支援　（日野町　日野祭り）・チャリティー歌謡祭・ソロプチミスト贈呈式
保護者会
（6 月）　交流会　　前野区サロン　・カフェ出店（忍の里プララ）
外出支援（守山　ピエリ　芦刈園）
（7 月）　カフェ出店（伝馬館）
（8 月）　夏季休暇（13 日～16 日）
（9 月）　カフェ出店（あいの土山文化ホール）・外出支援（水口町　買い物　ランチ）
保護者会
（10 月）　カフェ出店（忍の里プララ）・歯科検診・消防署点検
（11 月）　健康診断・カフェ出店（あいの土山文化ホール）・合同レクリエーション
一日旅行（姫路城　姫路セントラルパーク）
（12 月）　カフェ出店（あいの土山文化ホール）・公共交通機関利用訓練（バス）
映画鑑賞・忘年会・年末大掃除・年末休暇（29 日～31 日）
（1 月）　書初め・外出支援（初詣、ランチ土山 SA）・ 年始休暇（1 日～3 日）
公共交通機関利用訓練（電車・草津市エイスクエア）
（2 月）　外出支援　田村まつり・カフェ出店（あいの土山文化ホール）・
余暇・外出支援・カラオケ
（3 月）　新規通所者　通所開始　イベント系はコロナ対応で中止

（４）ボランティアの状況

・土山町民生委員児童委員協議会障害者部会（リサイクル回収）
・土山町ゆうゆうクラブ連合会（リサイクル回収）
・大野地区日赤奉仕団（作業所の清掃作業）
・作業所支援個人ボランティア（内職・すまいるかふぇ・給食・リサイクル）
・保護者会（各行事運営）
・エコバッグ作製会 5 回実施

（５）実習の状況

・土山中学校職場体験学習　　6 月 24 日(月)～6 月 28 日(金)
・大野小学校　　体験学習　　11 月 15 日(金)
・三雲養護学校高等部実習　　6 月 18 日(火)～6 月 20 日(木)
8 月 7 日(水)～8 月 9 日(金)
1 月 22 日(水)～1 月 24 日(金)

（６）定例会議等

・職員会議（月 1 回）
・サービス調整会議（毎月 1 回）
・各ケース検討会議（随時）
・作業所検討部会（毎月 1 回）
・すまいるかふぇ会議（毎月 1 回）

・進路調整部会（年３回）

（７）職員の研修等

・職員所内研修：利用者のケース検討と特製理解　２月 28 日

・職員研修（法人内各種研修に参加）

≪つちやま福祉作業所事業全体のまとめ≫

令和元年度は、利用者の通所・作業時間などを明確に提示・支援をすることによって、作業と余暇のメリハリと、効率化を図り、朝礼・終礼などで生活面の支援なども行った。その結果、人数は変わらず、作業時間は少なくなったものの、意欲が向上し、作業参加率が高まり生産性も向上し、就労支援事業に関しては売り上げが前年度の 1.3 倍となった。

就労支援事業では、市からの委託事業先としてトイレ清掃の請負も開始し、施設外就労先として、支援の提供機会の増加を行えた。また、所内でも清掃を定期的に行い、その中で個人のスキルを上げることで、施設外就労先での仕事だけでなく、自宅での清掃をし始める利用者が出るなど、生活面での自立意欲の向上につながった。

居住の場の移行が課題となっていた利用者のグループホームへの体験や保護者に対しての支援が進み、体験から移行への支援が本格的に始められた。

地域のボランティアとの交流に関しても、すまいるかふぇや給食の日、リサイクル事業での継続したつながりの中で、安定した場と機会の提供が行えている。

次年度も地域に開かれた事業所をめざし、利用者個々のニーズに合わせた支援を行いながら、地域の方々との関わりを通して、利用者の暮らす地域とともにある事業所づくりを進めていく。また、利用者の処遇面でも、工賃システムの見直しと改定などを通して、より明確な支援を提供し、本人たちの就労意欲や労働意欲の向上に努めていきたい。生活面においても自立に向けて、困ったときの対処の仕方などの支援を引き続き行っていく。

２．甲賀福祉作業所

（１）利用者の状況

【利　用　者　数】就労継続支援Ｂ型　26 名（定員 34 名）（男子：16 名　女子：10 名）

（退所者）

５月　精神疾患により療養の為１名退所

７月　一般就労の為、１名退所

９月　就労継続支援Ａ型Ｂ型多機能事業所へ移行

【利用者住所地】甲賀町 14 名　水口町３名　土山町３名　甲南町２名　信楽町２名　湖南市２名

【障 が い 区 分】精神：３名　知的：23 名（発達障がい含む）

【障害支援区分】なし：16 名、区分１：１名、区分２：０名，区分 3:3 名、区分４：５名、区分６：１名

【年間平均通所率】88.6%（平成 29 年度　87.6%）

【年 間 平 均 工 賃】月額 13,676 円／１人（前年度平均 12,445 円）

（２）作業内容

【企業支援による内職】　内職先事業所

・田中縫工所（個人事業主）　布団の紐切り・結び
・(株) スナッツフーズ　ポップコーンのカップシール貼り
・(株) アサヒテック　リフト車のケーブル加工・ゴム付け
・(株) コーガアイソトープ　検品作業
・(株) 三桜工業　自動車部品の下請け作業
・(有) トラスト　プラスチック選別作業、シール取り
・(株) 加藤製作所　室外機基盤部品入れ、説明書折り、箱折り

≪内職作業を通じて、報告方法や困ったときの伝え方、仕事と余暇の切り替え、自信や達成感、充実感を持ってもらい、それぞれの課題に沿った支援を行っている。≫

【自主事業】　製菓事業

（製品）：バウムクーヘン（プレーン・ゴマ）メレンゲ・カットバウム（プレーン・ゴマ）バウムクッキー（プレーン・ゴマ・シナモン）等

（卸先）：新名神土山 SA、道の駅あいの土山、ダイヤモンド滋賀 GC、(有) 甲賀もち工房、JA 花野果市等

（仕入の販売）

・命のバトン関連商品の組み立て販売

≪命のバトン事業については、受注先の状況により変動する状況であるが、彦根地域からの注文が多かった。甲賀市内では、ある一定配布されているため新規追加分の注文を受けている。≫

【喫茶事業】

・喫茶お和しすの事業運営

≪地元住民のボランティアの支援を受けて３年､継続して活気のある｢喫茶お和しす｣となり、甲賀町住民の憩いの場となってきている。さらに飲料だけでなくクッキーやバウムクーヘンに加えて軽食（カレー、カップラーメン）なども取れるようにメニューの見直しを行った。利用者もボランティアの方と一緒に働く事で刺激を受け、地域の方との交流を深め楽しく活動を行っている。≫

【施設外就労】

・㈱トラスト（パチンコ台等産業廃棄物解体処理）
・甲賀木の駅プロジェクト　地元ボランティアと薪割作業

【その他事業】

・リサイクル事業（町内企業、図書館、市内社協事業所への古紙、アルミ缶回収およびリサイクル庫開放による市内個人からの古紙、アルミ缶の搬入）

※令和２年１月より、海外事情により段ボール価格が下落（キロ４円⇒1 円）

≪より多くの市民の方に、甲賀町内のリサイクルステーションとして認識していただ

けるようになった。継続した広報活動にも力を入れていきたい。≫

【社協管理施設の清掃業務受託】

・水口社会福祉センターの清掃業務　　毎週火・木曜　1回3～4人従事
・鮎河保育園の草引き作業の優先発注受託　　年2回　1回3～6人従事
・甲賀駅清掃（優先発注受託）
・油日駅清掃（優先発注受託）
・ここも一り、除草作業　　年間3回
・佐山荘の清掃業務　　毎週水・金曜　1回3～4人従事
・すこやか荘の清掃業務　　毎週火・水・金曜 1回1人従事

≪令和元年度も継続し清掃作業を行った。主に甲賀市社会福祉協議会管理施設の清掃、甲賀市優先調達推進法での委託事業を行っている。≫

（３）所内行事

（ 4月）じゅらくの里（湖南市）
（ 5月）ブルーメの丘（日野町）
（ 6月）イオンタウン湖南・パレットミル見学（栗東市）
（ 7月）イオンモール鈴鹿（鈴鹿市）
（ 8月）探検の殿堂（東近江市）
（ 9月）ボランティアサークル　オカリナ、劇（作業所）
　　歯科検診
（10月）滋賀県知的ハンディをもつ人の福祉協会スポーツフェスティバル
　　一日旅行　南京町⇒神戸どうぶつ王国（兵庫県）
（11月）こうかサスケくらぶスポーツ出前講座
（12月）滋賀県知的ハンディを持つ人の福祉協会文化の集い（守山文化ホール）
（1月）田村神社初もうで　⇒　挨拶回り　⇒　アルプラザ水口にて昼食、買い物
（2月）田村神社　厄除大祭
（3月）作業所内で映画鑑賞（コロナウィルスの影響）

※お誕生日会（毎月）・・・・利用者の誕生日月に実施。好きなデザート1品。

（４）ボランティアの状況

・毎週月曜日　更生保護女性会甲賀支部　2～3名　内職等
・毎週木曜日　日本赤十字奉仕団　2～3名　内職等
・毎月第２火曜　民生児童委員　2名　内職等
・喫茶お和しすボランティア　火～金（毎回3～4人）
・薪プロジェクト　毎週月曜日（雨天時中止）

（５）視察の受け入れなど

水口町綾野地区

愛知県知多郡(5 町)社会福祉協議会　見学

甲賀市水口医療介護センター（市内医療従事者）　見学

（６）実習の状況

見学　　・・・　三雲養護学校高等部 1 年生（11 名）

甲賀中学校　・・・　職場体験（2 名）

（７）会議等

定例会議等

・サービス調整会議（毎月 1 回）　・職員会議（毎月 1 回）

・ケース会議（不定期　随時）　・工賃検討会議（年１回）

・作業所検討部会（毎月 1 回）　・個別支援計画作成会議（年２回）

・モニタリング会議（年２回）　・甲賀エリア会議（毎月 1 回）

・進路調整部会（年３回）　・薪定例会（毎月第 1 水曜日）

（８）職員の研修等

・近畿社会就労センター長研修会（大阪）

・近畿中堅職員研修（兵庫県）

・意思決定支援について（滋賀）

≪甲賀福祉作業所事業全体のまとめ≫

令和元年度も継続して就労支援に力を入れ、就職希望者のニーズを捉え情報提供等支援を行った。結果、作業所初の一般就労者を 1 名出すことができ、大きな成果を上げる事が出来た。

また、地域と密着した関係性を継続して行うことで、喫茶お和しすでは地元ボランティア約 30 名の支援を受けて運営を行う事が出来た。薪プロジェクトでも地元ボランティアの方の支援を受け、一緒に体を動かして作業を行う楽しさを教えてもらい地域通貨（モリ券）では、作業所利用者の絵を採用してもらえるなど、年々良い関係性となっている。

今後の利用者支援については、個別のニーズをしっかり受け止め、意思決定支援を意識して行うようにする。各利用者の要望に応え、日中支援（就職活動・居場所づくり）・余暇支援が両立できるように、各利用者が成長もしくは維持出来るように、本人の自立に向けた支援を作業所全体で行っていくことが重要と捉えている。